消　防　年　報

令和６年

三郷市消防本部

令和７年度　刊行

三郷市消防本部

“市民の安全と安心をめざして”

指　　針

1　時代に対応した人材の育成

1　危機管理の徹底

1　防火対象物及び住宅の安全対策の徹底

1　応急手当の普及推進

1　安全及び健康管理の推進

はしがき

この統計は、三郷市の消防現勢及び令和６年の消防業務に関する諸般の事項を収録し、今後の参考に資するとともに消防事情を広く一般に紹介するため編集したものです。

なお、編集については次の区分で作成しております。

編　集　内　容	
市及び消防の概要	令和７年４月１日現在
組織・施設に関する事項	
予算・決算に関する事項	令和６年度又は 令和７年３月３１日現在
予防に関する事項	
火災に関する事項	令和６年
救急に関する事項	
救助に関する事項	
その他（気象・１１９番受信状況）	

三　郷　市　民　憲　章

（昭和４７年５月３日制定）

水とみどりの美しい自然につつまれたわたくしたちのまち三郷は、新しい時代のいぶきをうけて、近代都市をめざして躍進をつづけております。

わたくしたちは、このまちを明るく健康で、住みよいまちとするために、全市民の願いをこめて、この市民憲章を定めます。

１　環境をととのえ、川や道路をきれいにし、花とみどりを愛して、美しいまちをつくりましょう。

１　老人やこどもをいたわり、おたがいに人格を尊重し、しあわせな家庭、豊かな都市をつくりましょう。

１　教養を高め文化の向上をはかり、若い力を伸ばして明るい社会をつくりましょう。

１　スポーツを愛し、自然に親しみ、健康で住みよい郷土をつくりましょう。

１　すべてのきまりを守り、交通災害や暴力のない平和な三郷をつくりましょう。

目　　次

ひと目でわかる三郷消防

三郷市消防本部の管轄図
１　三郷市の概要
（１）地勢・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
（２）人口と世帯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
２　消防の概要
（１）三郷消防の沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２～９
（２）機構図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
（３）庁舎等の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
（４）消防のしくみ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
（５）市一般会計と消防費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
（６）消防本部・消防署事務分掌・・・・・・・・・・・・・・・１３～１５

総　　務

１　職員
（１）条例定数と消防職員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
（２）所属別消防職員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
（３）勤続年数別消防職員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８
（４）年齢別消防職員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９
（５）教育訓練の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０
（６）職員の各種資格取得状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１

警　　防

１　水利
（１）消防水利設置状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２
（２）消防水利状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２
２　消防本部・署車両の配置状況・・・・・・・・・・・・・・・・・２３
３　消防用機械器具保有状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４
４　消防相互応援協定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５

指　令

１　指令
（１）指令系統図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６
（２）通信設備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７
（３）１１９番専用電話等入電件数・・・・・・・・・・・・・・・・２７
（４）緊急通報専用電話等入電件数・・・・・・・・・・・・・・・・２８
２　気象観測状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８

予　防

１　防火対象物の数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２９
２　中高層建築物数
（１）用途別階層別数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０
（２）地区別階層別数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０
３　消防同意事務
（１）申請別建築確認同意事務処理件数・・・・・・・・・・・・・・３１
（２）用途別建築確認同意事務処理件数・・・・・・・・・・・・・・３１
４　消防用設備等の届出状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３２
５　火災予防条例等に伴う各種届出状況・・・・・・・・・・・・・・３２
６　危険物施設の数
（１）施設の種類別施設数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３３
（２）危険物の種類別施設数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３４
（３）危険物の貯蔵・取扱い数量別施設数・・・・・・・・・・・・・３４
（４）地名別危険物施設数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３５
７　危険物関係事務取扱い件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・３６
８　液化石油ガス地名別販売事業所数・・・・・・・・・・・・・・・３７
９　立入検査実施状況
（１）防火対象物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３８
（２）危険物施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３８

火　災

解説・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３９～４１
１　火災の概況（５年間）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４２
２　火災発生件数の推移（１０年間）・・・・・・・・・・・・・・・４２

３　令和６年三郷市火災概況
（１）月別火災概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４３
（２）火災種別発生件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４４
（３）覚知方法別件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４４
（４）管内別火災発生件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４４
（５）地名別火災発生件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４４
（６）出火原因別件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４５
（７）曜日別火災発生件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４５
（８）時間帯別火災発生件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４６
（９）管内別火災発生件数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４７
(10) 地区別火災発生件数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４７
４　令和６年の火災概況（全国）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４８

救急・救助

１　救急
（１）救急出場件数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４９
（２）救急出場状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５０
（３）地区別救急出場状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５１
（４）署別救急出場状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５１
（５）時間別救急出場件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５２
（６）事故種別年齢区分別搬送人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・５２
（７）事故種別傷病程度別搬送人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・５２
（８）事故種別不搬送理由別不搬送件数・・・・・・・・・・・・・・・・５３
（９）現場到着所要時間別出場件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・５４
(10) 収容所要時間別搬送人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５４
(11) 応急手当講習受講者状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５５
２　救助
（１）救助出動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５６
（２）ドクターヘリ要請件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５７
（３）救急支援出場件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５７

消 防 団

１　消防団組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５８
２　団員
（１）分団別階級別の消防団員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・５９
（２）団員１人当たりと市民の割合・・・・・・・・・・・・・・・・・６０
（３）団員の年齢別・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６０
（４）団員の勤続年数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６１
（５）団員の退職報償金の額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６１
（６）団員年額報酬及び出務報酬の額・・・・・・・・・・・・・・・・６１
３　消防団の装備及び施設
（１）分団・班別の消防車両・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６２
（２）分団・班別機械器具置場の概要・・・・・・・・・・・・・・・・６３
三郷市消防団機械器具置場配置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・６４

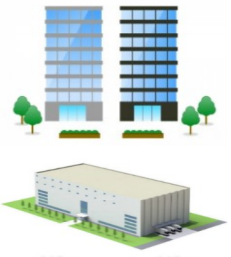
少年消防クラブ

１　少年消防クラブの概要
（１）目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６５
（２）少年消防クラブの沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・６５～６６
２　少年消防クラブの団員状況
（１）年度別入団員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６７
（２）年度別在籍数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６７
（３）少年消防クラブ員在籍状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・６７
（４）小学校別クラブ員在籍状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・６８
（５）中学校別クラブ員在籍状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・６８
（６）高校生クラブ員在籍状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６８
３　令和６年度少年消防クラブの年間活動概要・・・・・・・・・・・・６９
三郷市少年消防クラブ活動風景・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７０

ひと目でわかる三郷消防

市の面積 （令和7年4月1日現在）	人口・世帯数 （令和7年4月1日現在）	消防予算額 （令和7年度当初予算）	消防署所 （令和7年4月1日現在）	消防職員数 （令和7年4月1日現在）
30.22㎢	人 口・142,041 人 世帯数・68,886 世帯	2,183,783 千円	消防本部　1 消 防 署　1 分　　署　2	定　数　175 人 実　数　173 人 （うち女性職員 10 人） 再任用短時間　7人

消防車両等の台数 （令和7年4月1日現在）	消防水利 （令和7年4月1日現在）	火災発生件数 （令和6年中）	救急出場件数 （令和6年中）	救助出動件数 （令和6年中）
ポンプ車　　6台 救急車　　8台 特殊車両等 14 台 （各項非常用車両含む）	消火栓　1,253基 防火水槽　147基	29件 建物火災　　20件 車両火災　　3件 その他の火災　6件	9,089件 急病　5,993件 一般　1,260件 交通　620件 その他　1,216件	出動件数　98件 活動件数　71件 救助人員　62人

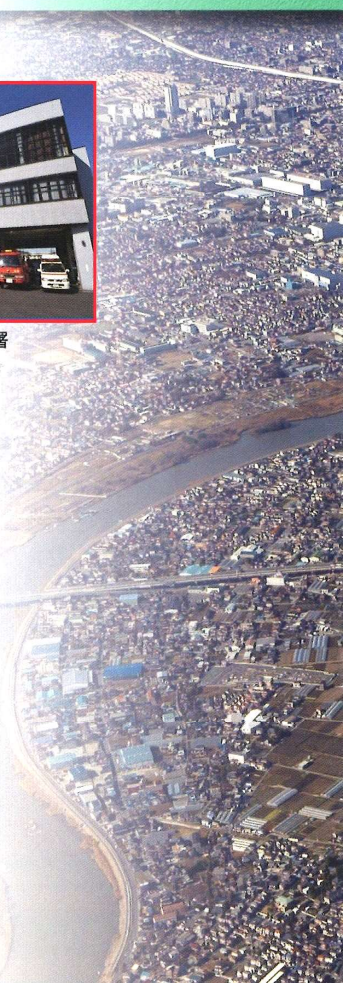
119 番専用入電件数 （令和6年中）	消防団員数・編成 （令和7年4月1日現在）	少年消防クラブ員数 （令和7年4月1日現在）	防火対象物数 （令和7年3月31日現在）	危険物施設数 （令和7年3月31日現在）
				
合　計 13,408 件 固定電話 4,522 件 携帯電話 7,700 件 その他　1,186 件	定数　360人 実数　289人 編　　成 7分団24班	合　計　120人 小学生　41人 中学生　54人 高校生　25人	3，584 棟 ※延面積 150 ㎡以上	225施設 製造所　2施設 貯蔵所147施設 取扱所　76施設

三郷市消防本部の管轄図

北分署

三郷市消防本部・三郷市消防署

南分署



1　三郷市の概要

（1）地　　勢

○　位　置

三郷市は、埼玉県の東南部、江戸川と中川に挟まれた沖積低地上に位置し、東側は江戸川を挟んで千葉県の松戸市、流山市、南側は東京都葛飾区、西側は中川を挟んで八潮市、北側は吉川市と接している。

東経１３９度５２分２１秒、北緯３５度４９分４９秒
東京駅からの直線距離は約２０㎞
（最近地点１５㎞・最遠地点２４㎞）

○　面　積

３０．２２㎢

東西の長さ　　最長　５．６㎞　　南北の長さ　　最長　９．５㎞

○　海　抜

東京湾平均海水面より１～3m

地形は、ほとんど高低がなく、北から南に向かってわずかな傾斜をしている。

○　地　質

関東平野の江戸川及び中川（古利根川）に沿った沖積平野に属し、江戸川対岸の東部は下総台地であるが、当地方の沖積層は、台地を河川が浸食し、奥東京湾を運搬堆積物で埋めながら形成されたもので、上層部は一般に軟弱地盤、深度 30～50 メートル位まで沖積層が続いている。

（2）人口と世帯

各年４月１日現在

区分／年別	世　帯	人　口		
		計	男	女
令和2年	65,195	142,591	72,251	70,340
令和3年	66,168	142,663	72,246	70,417
令和4年	66,752	142,758	72,084	70,674
令和5年	67,220	142,177	71,692	70,485
令和6年	68,036	141,935	71,586	70,349
令和7年	68,886	142,041	71,536	70,505

2　消防の概要

（1）三郷消防の沿革

昭和３１年　９月	東和村、彦成村、早稲田村の三ヶ村が町村合併促進法により合併し「三郷村」が発足した。
昭和３２年１０月	三郷村消防団初代団長に秋本安太郎氏就任
昭和３３年１１月	三郷村消防団第２代団長に大山惣次郎氏就任
昭和３４年１１月	三郷村消防団第３代団長に加藤巳之吉氏就任
昭和３５年１１月	三郷村消防団第４代団長に大山惣次郎氏就任
昭和３９年１０月	町制施行により「三郷町」となる。
〃	消防団３本部２２分団となる。
昭和４３年　９月	消防庁舎（敷地面積２，６４８．９０㎡・鉄筋コンクリート造２階建・延面積７０６．９７５㎡）を大字幸房１１５５番地に建設着工
昭和４４年　１月	三郷町消防本部を大字谷口５４４番地、三郷町役場内に設置 消防長事務取扱に白石敏夫氏、職員定数１５人、指令車１台、化学車１台で発足
３月	三郷町消防署を大字谷口５４４番地、三郷町役場内に設置
〃	初代消防長に大山惣次郎氏就任（初代消防署長兼務）
〃	消防団第５代団長に岡庭慶太郎氏就任
〃	消防庁舎落成、消防本部・消防署を大字幸房１１５５番地に移転
〃	消防無線基地局１、移動局１、携帯２を開局
４月	職員定数を３０名とする。
〃	消防団を再編成し、１本部６分団となる。
昭和４５年　４月	職員定数を４２名とする。
昭和４７年　４月	職員定数を５５名とする。
５月	市制施行により「三郷市」となる。
昭和４８年　７月	消防長に三郷市長・白石敏夫氏が事務取扱
〃	消防署長に本部次長・加藤弘氏が兼務
昭和４９年　４月	職員定数を６０名とする。
昭和５０年　１月	第２代消防長に加藤弘氏就任
２月	署車庫増築（鉄骨スレート造）
〃	４０m級はしご付消防ポンプ自動車（三菱）を署に配置
４月	職員定数を６５名とする。
１２月	三郷市消防署南分遣所（敷地面積１，３７３．４㎡・鉄骨プレハブ平屋建・延面積２８４．０４㎡）を寄巻２３１番地に設置
昭和５１年　４月	職員定数を１００名とする。
５月	市の機構改革に伴い、消防本部を２課５係に、消防署を３係にする。

昭和５２年	２月	消防本部・署の食堂を増改築（２９．６９㎡）し、延面積７３６．６６５㎡となる。
昭和５３年	１月	第３代消防署長に鈴木昭治氏就任
	２月	日本消防協会表彰旗を受章
昭和５４年	４月	三郷市消防署北分署（敷地面積１，９０６．５０㎡・鉄筋コンクリート造２階建・延面積７２９．９６６３㎡）を上彦川戸８８６番地に設置
	〃	三郷市消防署南分遣所を三郷市消防署南分署とする。
昭和５５年	５月	消防本部・署の車庫を増築（４４㎡）し、延面積７８０．６６５㎡となる。
	７月	消防本部・署改修工事
	１２月	屈折はしご付消防ポンプ自動車（１５m級）を署に配置
昭和５６年	３月	消防庁長官竿頭綬を受章
	４月	職員定数を１０７名とする。
昭和５８年	５月	第３代消防長に小沢源太郎氏が就任
	６月	第４代消防署長に中田満氏が就任
昭和５９年	３月	三郷市消防署南分署（敷地面積３，２１３．７２㎡・鉄筋コンクリート造２階建・延面積９２１．２５㎡）を鷹野三丁目４７４番地に新築
	４月	職員定数を１１５名とする。
	６月	第４代消防長に中村亨氏が就任
昭和６０年	５月	第５代消防署長に鈴木昭治氏が就任
昭和６１年	４月	第５代消防長に野本昭治氏が就任
昭和６３年	４月	職員定数を１２０名とする。
平成元年	４月	第６代消防長に稲舛廣穂氏が就任
	〃	消防団第６代団長に恩田博氏が就任
平成３年	４月	職員定数を１３０名とする。
	８月	（仮称）三郷市消防・防災総合庁舎（敷地面積４，２００．０３㎡・鉄筋コンクリート造３階建・延面積３，４５３．５９㎡）を幸房１１５５番地他５筆に建設着工する。
平成５年	３月	三郷市消防・防災総合庁舎が完成する。
	４月	第７代消防長に島根好久氏が就任
	〃	第６代消防署長に島根敏行氏が就任
	〃	消防本部の組織改正を行い「警防課」を新設し、従来の総務課「消防機械係」を警防課「消防係」に改称し、「指令第１係」及び「指令第２係」を新たに設置する。この改正により、３課７係となる。
平成６年	３月	緊急通報システム（福祉）運用開始
	１１月	４０m級はしご付消防自動車を北分署に更新配置
平成７年	５月	聴覚障がい者用ファックスを導入
平成８年	４月	職員定数を１４０名とする。

〃　第７代消防署長に二葉利夫氏が就任
平成９年　３月　消防庁長官表彰旗を受章
４月　第８代消防長に芝井忠夫氏が就任
平成１１年　３月　消防団第７代団長に田中清氏が就任
４月　第８代消防署長に中田満氏就任
平成１２年　４月　職員定数を１５０名とする。
〃　第９代消防長に大場隆雄氏が就任
〃　消防本部の組織改正を行い「通信指令室」を新設し、指令第１係及び指令第２係の他に「管理係」を新たに設け、３係とする。
また、警防課は消防係の他に「救急救助係」を新たに設け、２係とする。
この改正により、４課（室）９係となる。
９月　消防団第８代団長に髙橋雄行氏が就任
１０月　女性消防団員（７人）の採用「アザレア」と命名
平成１３年１０月　南分署一部解体工事（草加三郷線街路整備工事に伴う一部移転）
平成１４年　４月　第１０代消防長に宮田愛和氏が就任
〃　第９代消防署長に根岸友一氏が就任
平成１５年　３月　南分署区画整理及び建物一部増改築（敷地面積１，６４２．９３㎡・鉄筋コンクリート造２階建・延面積９３３．７７㎡）
〃　南分署訓練場新設
１０月　アザレア　第16回全国女性消防操法大会出場（優良賞）
１１月　第１１代消防長に中田満氏が就任
平成１６年　４月　職員定数を１６５名とする。
〃　消防本部の組織改正を行う。

	（旧 名 称）		（新名称）
【本　　部】	総務課	・・・・・・・・・・→	消防総務課
	〃	企画係・・・・→	消防団係
	予防課	指導係・・・・→	予防係
	予防課	安全係・・・・→	危険物係
	（旧名称）		（新名称）
	通信指令室	・・・・・・・・→	指令課

【消　防　署】・・・・課制とし消防１課、消防２課を置く
【南・北分署】・・・・新たに救急第１係、救急第２係を置く
〃　第１２代消防長に増田吉男氏が就任
平成１７年１２月　ＡＥＤ（自動体外式除細動器）を消防署・南北分署に各２台配置
平成１８年　３月　災害時用衛星国際携帯電話を本部に配置
４月　第１３代消防長に加藤弘氏就任
〃　第１０代消防署長に峯岸和夫氏就任

	１２月	救助工作車Ⅱ型を消防署に配置
平成１９年	３月	消防団第一分団第４班機械器具置場を移転し新築
	〃	指揮先行車を南分署に配置
	４月	第１４代消防長に峯岸和夫氏就任
	〃	第１１代消防署長に鈴木清司氏就任
	〃	簡易型消防緊急通信指令施設運用開始
	６月	消防団組織改編し、１本部６分団２４班とする。
	１０月	ＡＥＤ（自動体外式除細動器）を１台消防本部２Ｆ廊下に設置
平成２０年	１月	災害対応特殊救急車（トヨタ）を北分署に配置
	〃	高規格救急自動車を北分署から消防署に予備車として配置
	２月	予防１号車を本部に配置
	〃	日本消防協会海外消防援助事業に消防自動車１台を寄贈
	３月	日本消防協会竿頭綬を受章
	４月	消防団に各種災害対応機動車（第一分団第４班）及び小型全自動消防ポンプ自動車２台を（第五分団第４班・第六分団第１班）配備
	〃	日本消防協会海外消防援助事業に消防自動車２台を寄贈
	７月	元分団長松井孝司氏より市民貸出用 AED２台を寄贈
	８月	消防団第六分団第１班機械器具置場を建替え
	〃	消防団　第２５回埼玉県消防操法大会（小型ポンプの部）出場
平成２１年	１月	高規格救急自動車（トヨタ）を本署に配置
	３月	消防団第四分団第２班機械器具置場を建替え
	〃	消防ポンプ車を北分署に配置
	〃	各種災害対応機動車を第三分団第１班に配備
	４月	消防団第９代団長に本間雄一郎氏が就任
	１０月	日本消防協会海外消防援助事業に消防自動車１台を寄贈
	１１月	元消防署長鈴木昭治氏第１３回危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）受章
平成２２年	１月	高規格救急自動車を消防署に配置
	３月	日本消防協会海外消防援助事業に救急自動車１台を寄贈
	〃	小型全自動消防ポンプ自動車２台を（第三分団第２班・第四分団第２班）配備
	〃	総務省消防庁より救助資器材搭載型車両が貸与
	４月	救助資器材搭載型車両を消防団第四分団第１班に配備
	〃	元消防団長髙橋雄行氏平成２２年春の叙勲（瑞宝双光章）受章
	５月	消防団顧問髙橋雄行氏より団本部公用車を寄贈
	〃	消防団第六分団第４班機械器具置場を建替え
	６月	団本部公用車を本部に配置
	９月	第７回埼玉県東部地域救急フェスタ開催

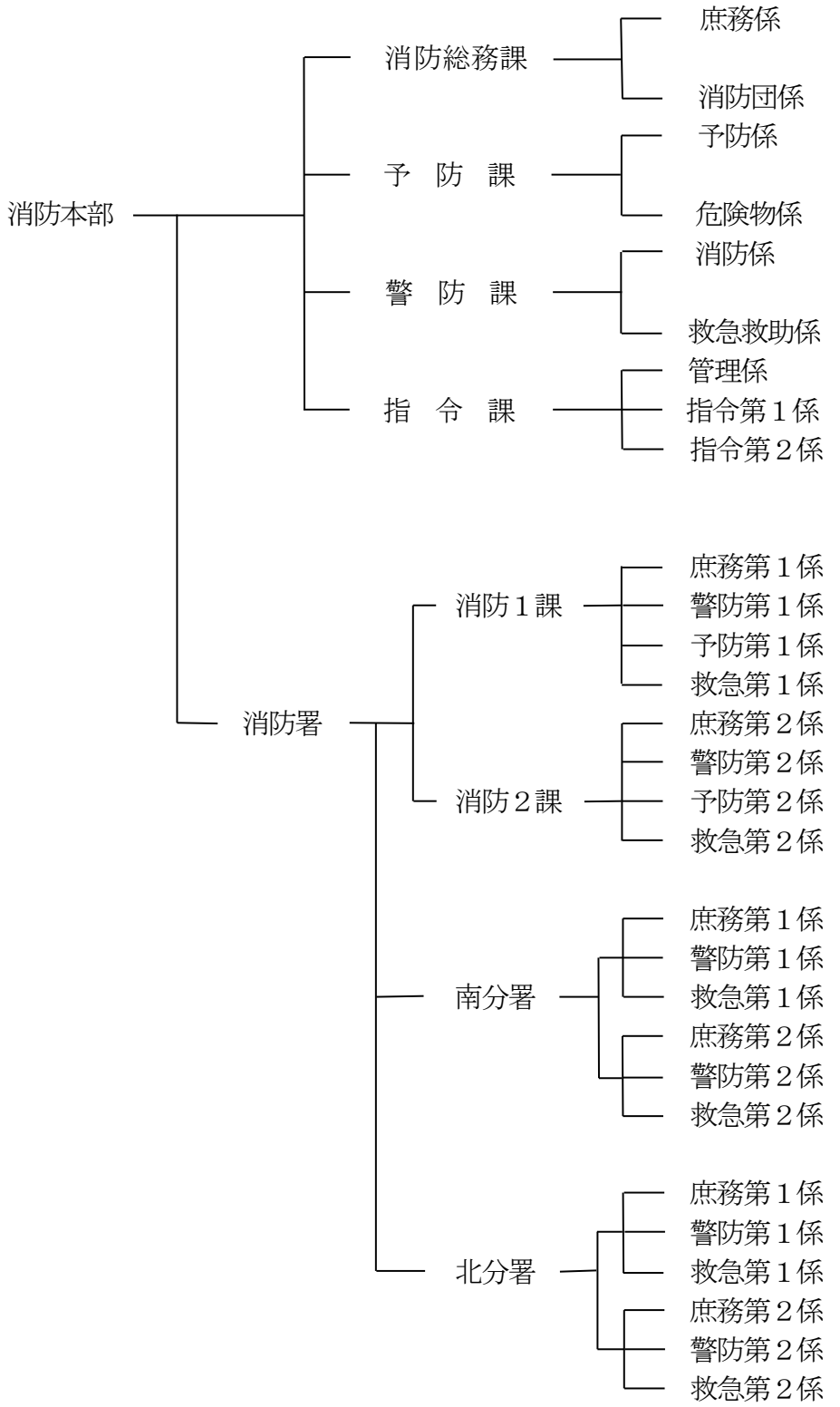
	１１月	元消防署長二葉利夫氏第１５回危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）受章
	１２月	各種災害対応機動車３台を（第一分団第３班・第五分団第２班第六分団第４班）配備
	〃	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を消防署に配置
平成２３年	２月	防災活動車が日本消防協会より寄贈
	３月	防災活動車を本部に配置
	〃	東北地方太平洋沖地震に伴う三郷市災害医療団派遣（３月１５日～宮城県石巻市）
	〃	東北地方太平洋沖地震に伴う緊急消防援助隊派遣（３月１９日～岩手県陸前高田市）
	４月	第１５代消防長に安晝和己氏就任
	〃	第１２代消防署長に鈴木敏氏就任
	〃	少年消防クラブ設立（３２名）
	〃	消防団第一分団第２班機械器具置場を移転し新築
	〃	消防団第五分団第２班機械器具置場を建替え
	１１月	警防課・指令車を北分署・先行車に配置換え
	〃	元消防署長根岸友一氏第１７回危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）受章
	〃	元消防団副団長石井萬藏氏平成２３年秋の叙勲（瑞宝単光章）受章
平成２４年	３月	消防ポンプ車を南分署に配置
	〃	小型動力ポンプ積載車を南分署と北分署に配置
	〃	小型貨物自動車を消防署に配置
	４月	第１３代消防署長に南部正彦氏就任
	〃	消防団第五分団第４班機械器具置場を建替え
	〃	元消防司令互清次氏第１８回危険業務従事者叙勲（瑞宝単光章）受章
	７月	元消防団副団長石井萬藏氏よりデジタル簡易無線機２６台を寄贈され各班に配備
	１１月	三郷市市制施行４０周年特別記念事業「消防フェア」開催
	１２月	AED を市内コンビニエンスストア３０店舗に配置
平成２５年	２月	高規格救急自動車を南分署に配置
	３月	消防団第五分団第３班機械器具置場を移転し新築
	〃	小型全自動消防ポンプ自動車を第二分団第３班に配置
	４月	消防救急デジタル無線施設運用開始
	〃	元消防団分団長島田博司氏平成２５年春の叙勲（瑞宝単光章）受章
	１１月	元消防監中田満氏第２１回危険業務従事者叙勲（瑞宝単光章）受章
	１２月	元消防団分団長島田博司氏よりハンドベルを寄贈
平成２６年	３月	災害対応特殊救急車（トヨタ）を消防署に配置
	〃	高機能型通信指令システム運用開始

	〃	ネット１１９運用開始
	４月	第１６代消防長に南部正彦氏就任
	〃	第１４代消防署長に程田幸治氏就任
	〃	消防団第三分団第３班機械器具置場を移転し新築
	〃	三郷市消防団サポーター事業開始
	１１月	高規格救急自動車を北分署に配置
平成２７年	１月	三郷中央一体型特定土地区画整理事業に伴う町名地番変更により消防本部・消防署住所が「中央五丁目４５番地４」へ番地変更
	３月	消防団第一分団第３班機械器具置場を移転し新築
	４月	元消防署長鈴木清司氏、元消防司令長島根善範氏第２４回危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）受章
	１１月	元消防司令長椙橋良次氏第２５回危険業務従事者叙勲（瑞宝単光章）受章
平成２８年	２月	４０ｍ級はしご付消防自動車を消防署に更新配置
	〃	各種災害対応機動車３台を（第一分団１班・第四分団４班・第五分団３班）配置
	３月	北分署新築庁舎落成（鉄筋コンクリート造２階建・延面積８４３．１５㎡） 北分署車庫棟に太陽光発電パネル及び蓄電池設備を設置
	〃	消防団第五分団第１班機械器具置場を移転し新築
	〃	総務連絡車を本部に更新配置
	４月	元消防長峯岸和夫氏第２６回危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）受章
	〃	広報車を本部に更新配置
	８月	消防団　第２９回埼玉県消防操法大会（小型ポンプの部）出場
	１１月	元消防司令長加藤勝氏第２７回危険業務従事者叙勲（瑞宝単光章）受章
	〃	予防２号車を本部に更新配置
	１２月	埼玉県女性消防団員大会　三郷市で開催
	〃	日本消防協会より消防団防災活動車が寄贈本部に配置
平成２９年	２月	各種災害対応機動車２台を（第二分団４班・第五分団１班）配置
	３月	新和エコー（株）からの消防寄付金により消防長公用車を本部に更新配置
	〃	消防団第四分団第１班機械器具置場を解体し新築
	４月	第１７代消防長に野本浩氏就任
	〃	元消防司令長後藤要一氏第２８回危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）受章
平成３０年	３月	消防訓練塔（Ｂ塔）完成
	〃	救助隊員認定制度策定
	〃	消防団第二分団第４班機械器具置場を解体し新築
	４月	第１５代消防署長に椎名義明氏就任
	〃	元消防長安晝和己氏第３０回危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）受章
	１１月	元消防署長鈴木敏氏第３１回危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）受章

平成３１年	１月	常備消防発足５０周年
	２月	高規格救急自動車を消防署に更新配置
	〃	消防訓練塔（A・C 塔）完成
	３月	消防団第二分団第３班機械器具置場を解体し新築
	〃	三郷市消防本部発足５０周年記念誌発刊
	４月	第１６代消防署長に山本隆氏就任
令和元年	７月	三郷市消防本部・消防署発足５０周年記念式典挙行
	１１月	アザレア分団 第２４回全国女性消防操法大会出場 優秀賞受賞（第５位）
令和２年	３月	消防団第六分団第２班機械器具置場を解体し新築
	〃	小型全自動消防ポンプ自動車を第一分団第２班に配備
	４月	化学車を消防署に更新配置
	〃	第１８代消防長に浅香一雄氏就任
	〃	第１７代消防署長に矢口嘉伸氏就任
	１０月	三郷市防火安全協会から発足５０周年記念事業によりハイエース（１４人乗り）を寄贈
	１１月	元消防団副分団長増田平氏令和２年秋の叙勲（瑞宝単光章）受章
令和３年	１月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため出初式中止
	３月	災害対応特殊救急自動車を北分署に更新配置
	〃	各種災害対応機動車２台を（第三分団第４班と第六分団第２班）配置
	４月	第１８代消防署長に小林良浩氏就任
	〃	消防団第１０代団長に島根東也氏が就任
	〃	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を南分署に更新配置
	１０月	北先行車北分署に更新配置
	１１月	元消防団長本間雄一郎氏令和３年秋の叙勲（瑞宝双光章）受章
令和４年	２月	消防団第三分団第４班機械器具置場を移転し新築
	３月	消防団顧問本間雄一郎氏より消防団へウレタンボート４艇を寄贈
	４月	職員定数を１７５名とする。
	〃	救助工作車Ⅱ型を消防署に更新配置
	〃	元消防長南部正彦氏第３８回危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）受章
	８月	三郷市消防団第３３回埼玉県消防操法大会出場　優勝
	１０月	三郷市消防団第２９回全国消防操法大会出場（千葉県）
	１１月	元消防署長程田幸治氏第３９回危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）受章
令和５年	１月	日本消防協会より防災活動車Ⅱが寄贈南分署に配置
	２月	災害対応特殊救急自動車を南分署に更新配置
	３月	指揮車消防署に更新配置
	〃	消防団第六分団第３班機械器具置場を移転し新築
	４月	第１９代消防長に山本浩文氏就任

	〃	高機能消防指令システム部分更新
	〃	元消防司令長戸井田稔氏第４０回危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）受章
	５月	東埼玉消防指令業務共同運用協議会設置
	１１月	元消防司令長豊田克美氏第４１回危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）受章
令和６年	４月	元消防長野本浩氏第４２回危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）受章
	７月	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を北分署に更新配置
	１１月	元消防署長椎名義明氏第４３回危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）受章
	〃	元消防団副団長石出忠正氏令和６年秋の叙勲（瑞宝単光章）受章
令和７年	３月	消防団第四分団第３班機械器具置場を新築
	〃	元消防団副団長石出忠正氏より消防団へウレタンボート２艇を寄贈
	〃	災害対応特殊救急自動車を消防署に更新配置
	〃	災害対応特殊救急自動車を北分署に更新配置

（2）機構図　　令和７年４月１日現在



（３）庁舎等の概要

【消防本部・消防署】

所 在 地　三郷市中央五丁目４５番地４
電　　話　０４８－９５２－１２１１
竣工年月　平成５年３月
構　　造　鉄筋コンクリート造３階建
建築面積　１，２７８．５０㎡
延 面 積　３，４５３．５９㎡
敷地面積　４，００３．６４㎡

【訓練塔】

所 在 地　三郷市中央五丁目４４番地１１

	A塔	B塔	C塔
竣工年月	平成 31 年２月	平成 30 年３月	平成 31 年２月
構　　造	鉄骨造２階建	鉄骨造４階建	鉄骨造平屋建
建築面積	１４．２５㎡	１８６．６１㎡	６７．９㎡
延 面 積	２８．５０㎡	４３０．１７㎡	６７．９㎡

敷地面積　２，８７８．３３㎡

【南分署】

所 在 地　三郷市鷹野三丁目４７４番地
電　　話　０４８－９５５－０９１１
竣工年月　昭和５９年３月
構　　造　鉄筋コンクリート造２階建
建築面積　　６７０．４６㎡
延 面 積　　９３３．７７㎡
敷地面積　１，６４２．９３㎡

【北分署】

所 在 地　三郷市上彦川戸８８６番地
電　　話　０４８－９５２－２２９１
竣工年月　平成２８年３月
構　　造　鉄筋コンクリート造２階建
建築面積　　６４８．８９㎡
延 面 積　　８４３．１５㎡
敷地面積　１，８０５．７９㎡

（４）消防のしくみ

消防本部には消防総務課、予防課、警防課、指令課の４課があり、消防総務課では、人事、予算、庶務等の消防組織そのものを維持するために必要な事務や、消防の運営の企画統制などの事務を行っています。予防課では危険物、防火管理、消防用設備、火災調査などの事務を行っています。警防課では、消火栓・防火水槽の設置及び維持管理、消防車両の整備及び維持管理、応急手当の普及推進、緊急消防援助隊や応援協定事務、また、指令課では、通信指令業務等の事務を行っています。

消防署は、中央地区の中央五丁目に位置し、南部地区の鷹野三丁目に南分署、北部地区の上彦川戸に北分署があります。消防は、市民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災又は地震等の災害を防除し、及びこれらの災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行うことを任務としております。

消防団は、郷土愛護の精神に基づき有志により組織され、市内に第一分団から第六分団まであり、団員は日常、各自の職業に従事しながら（非常勤で）災害の発生時等、その都度招集されて消防活動（主として、火災の警戒及び鎮圧、その他災害の防除及び被害の軽減など）を行っています。

また、消防団本部には、女性団員で構成されたアザレア分団があり、市内全域の救急教室や火災予防の啓発活動を行っています。

（５）市一般会計と消防費（５ヵ年）

（単位：千円）

区分／年度	市一般会計	消防費	比率	消防費の内訳		
				常備消防費	非常備消防費	消防施設費
令和３年度	58,267,614	1,544,585	2.4	1,282,866	79,736	208,048
令和４年度	59,840,113	1,570,650	2.7	1,482,728	96,950	80,146
令和５年度	58,928,513	1,659,824	2.8	1,350,601	61,246	31,698
令和６年度	61,381,618	1,674,150	2.7	1,418,509	87,011	168,629
令和７年度	62,500,000	2,183,783	3.5	2,045,616	107,775	30,392

（注）・令和３年度～令和６年度は決算額
・令和７年度は当初予算額

（６）消防本部・消防署事務分掌

消防本部

消防総務課（＊主管課）	庶　務　係	（１）　公印の保管、文書の収受、発送及び保存に関すること。 （２）　職員の任用、服務、規律及び表彰に関すること。 （３）　職員の人事に関すること。 （４）　職員の教養に関すること。 （５）　職員の福利厚生に関すること。 （６）　予算及び決算に関すること。 （７）　職員の給与品及び貸与品に関すること。 （８）　庁舎及び施設の維持管理に関すること。 （９）　消防委員会に関すること。 (10)　消防諸制度の企画及び調査に関すること。 (11)　消防関係例規の審査及び制定改廃に関すること。 (12)　消防統計及び広報に関すること。 (13)　消防施設の補助及び起債に関すること。 (14)　主要事業計画の策定及び調整に関すること。 (15)　消防職員委員会に関すること。 (16)　衛生委員会に関すること。 (17)　課の庶務に関すること。
	消防団係	（１）　消防団に関すること。 （２）　少年消防クラブに関すること。 （３）　消防協会に関すること。
予防課	予　防　係	（１）　火災予防に関すること。 （２）　防災管理者及び防火管理者に関すること。 （３）　建築確認の同意に関すること。 （４）　消防用設備に関すること。 （５）　防火対象物の査察及び指導に関すること。 （６）　違反防火対象物の処理に関すること。 （７）　火災によるり災証明に関すること。 （８）　火災の原因及び損害の調査に関すること。 （９）　課の庶務に関すること。
	危険物係	（１）　危険物製造所等の許認可に関すること。 （２）　違反危険物製造所等の処理に関すること。 （３）　危険物製造所等の査察及び指導に関すること。 （４）　危険物取扱者に関すること。 （５）　液化石油ガスに関すること。 （６）　火災の原因の調査に関すること。 （７）　防火協力団体に関すること。 （８）　その他危険物に関すること。

警防課	消　防　係	（1）　警防計画に関すること。 （2）　特殊災害に関すること。 （3）　消防の訓練の企画、立案及び実施に関すること。 （4）　災害活動技術の調査、研究及び指導に関すること。 （5）　消防相互応援及び広域応援に関すること。 （6）　消防水利施設に関すること。 （7）　車両の安全運転管理に関すること。 （8）　消防車両、機械器具の整備及び管理に関すること。 （9）　消防車両の設計及び仕様に関すること。 (10)　消防機器の製作及び改良に関すること。 (11)　課の庶務に関すること。
	救急救助係	（1）　救急及び救助業務に係る調査研究に関すること。 （2）　救急及び救助訓練の企画、立案及び実施に関すること。 （3）　救急及び救助隊員の教育訓練及び指導に関すること。 （4）　救急業務高度化事業の推進に関すること。 （5）　メディカルコントロール協議会に関すること。 （6）　救急及び救助統計に関すること。 （7）　救急関係機関との連絡調整に関すること。 （8）　応急手当及びＡＥＤ(自動体外式除細動器)の普及推進に関すること。 （9）　救急及び救助資器材の整備に関すること。 (10)　その他救急及び救助業務に関すること。
指令課	管　理　係	（1）　災害通報の受付及び出場指令に関すること。 （2）　災害情報の収集及び連絡に関すること。 （3）　消防通信の運用及び統制に関すること。 （4）　消防通信施設等の整備計画及び管理に関すること。 （5）　気象観測施設の管理に関すること。 （6）　情報処理業務の調整に関すること。 （7）　防災関係機関との災害に係る連絡調整に関すること。 （8）　課の庶務に関すること。
	指令第1係 指令第2係	（1）　災害通報の受付及び出場指令に関すること。 （2）　災害情報の収集及び連絡に関すること。 （3）　消防通信の運用及び統制に関すること。 （4）　災害現場への支援情報に関すること。 （5）　気象情報の収集及び伝達に関すること。 （6）　救急医療情報の収集及び伝達に関すること。 （7）　火災警報等の発令に関すること。 （8）　通信訓練及び技術の指導に関すること。 （9）　その他通信全般に関すること。

*主管課においては、当該課で所掌する事務のほか、次に掲げる事務を所掌する。

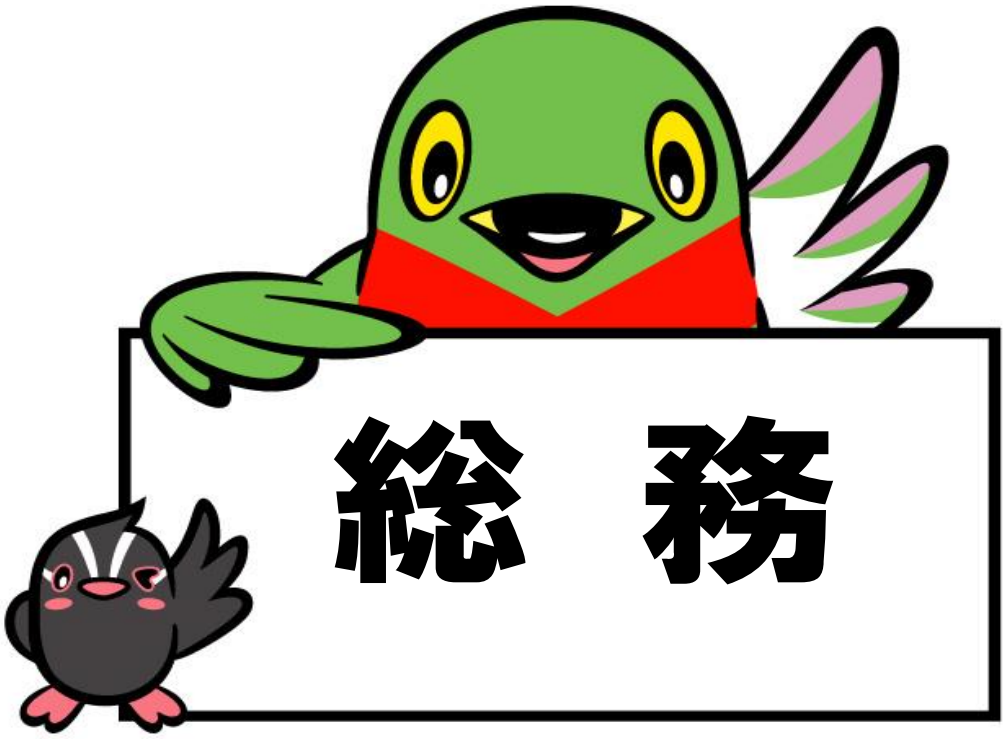
（1）消防本部内の連絡調整に関すること。

（2）消防本部の庶務に関すること。

（3）消防本部の所掌事務で他の課に属しない事項に関すること。

消防署

消防1課・消防2課	庶務第1係 庶務第2係	（1） 職員の訓練及び教養に関すること。 （2） 文書の収受及び整理保存に関すること。 （3） 職員の勤務に関すること。 （4） 職員の福利厚生に関すること。 （5） 物品の管理に関すること。 （6） 課の庶務に関すること。
	警防第1係 警防第2係	（1） 地理及び水利の調査に関すること。 （2） 消防機械器具の点検整備に関すること。 （3） 警防調査に関すること。 （4） 訓練の指導に関すること。
	救急第1係 救急第2係	（1） 救急業務に関すること。 （2） 救急資器材に関すること。 （3） 救急統計に関すること。 （4） 救急調査に関すること。 （5） 市民の救急相談及び指導に関すること。 （6） 応急手当の普及推進に関すること。 （7） 患者等搬送事業に対する指導及び認定に関すること。
	予防第1係 予防第2係	（1） 火災予防に関すること。 （2） 火薬類の取締に関すること。 （3） 建築確認の同意に関すること。
	（1） 火災の原因調査に関すること。 （2） 水火災等の警戒及び防ぎょに関すること。 （3） 人命の救助対策に関すること。 （4） 防火対象物の査察に関すること。	
分署	庶務第1係 庶務第2係	（1） 職員の訓練及び教養に関すること。 （2） 文書の収受及び整理保存に関すること。 （3） 物品の管理に関すること。 （4） 受付勤務に関すること。 （5） 分署の庶務に関すること。
	警防第1係 警防第2係	（1） 地理及び水利の調査に関すること。 （2） 消防機械器具の点検整備に関すること。 （3） 警防調査に関すること。 （4） 訓練の指導に関すること。 （5） 火災予防に関すること。
	救急第1係 救急第2係	（1） 救急業務に関すること。 （2） 救急資器材に関すること。 （3） 救急調査に関すること。 （4） 市民の救急相談及び指導に関すること。 （5） 応急手当の普及推進に関すること。
	（1） 火災の原因調査に関すること。 （2） 水火災等の警戒及び防ぎょに関すること。 （3） 人命の救助対策に関すること。 （4） 防火対象物の査察に関すること。	



総　務

急ぐ日も
足止め火を止め
準備よし

2025年度全国統一防火標語

1 職員

(1)条例定数と消防職員数

年　　月　　日	条例定数	実員数
昭和44年1月1日　(発足)	15	12
昭和44年4月1日	30	23
昭和45年4月1日	42	32
昭和46年4月1日	42	39
昭和47年4月1日	55	39
昭和48年4月1日	55	52
昭和49年4月1日	60	59
昭和50年4月1日	65	63
昭和51年4月1日	100	69
昭和52年4月1日	100	69
昭和53年4月1日	100	92
昭和54年4月1日	100	100
昭和55年4月1日	100	98
昭和56年4月1日	107	104
昭和57年4月1日	107	107
昭和58年4月1日	107	107
昭和59年4月1日	115	115
昭和60年4月1日	115	115
昭和61年4月1日	115	115
昭和62年4月1日	115	113
昭和63年4月1日	120	119
平成1年4月1日	120	119
平成2年4月1日	120	120
平成3年4月1日	130	123
平成4年4月1日	130	126
平成5年4月1日	130	128
平成6年4月1日	130	130
平成7年4月1日	130	130
平成8年4月1日	140	134
平成9年4月1日	140	135
平成10年4月1日	140	139
平成11年4月1日	140	140
平成12年4月1日	150	140
平成13年4月1日	150	143
平成14年4月1日	150	144
平成15年4月1日	150	144
平成16年4月1日	165	145
平成17年4月1日	165	149
平成18年4月1日	165	152
平成19年4月1日	165	149
平成20年4月1日	165	154
平成21年4月1日	165	154
平成22年4月1日	165	156
平成23年4月1日	165	156
平成24年4月1日	165	158
平成25年4月1日	165	161
平成26年4月1日	165	159
平成27年4月1日	165	162
平成28年4月1日	165	162
平成29年4月1日	165	161
平成30年4月1日	165	162
平成31年4月1日	165	165
令和2年4月1日	165	164
令和3年4月1日	165	163
令和4年4月1日	175	164
令和5年4月1日	175	162
令和6年4月1日	175	164
令和7年4月1日	175	173

(2)所属別消防職員数

令和7年4月1日現在

区分 所属			消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員	計
消防長			1								1
理事				1							1
次長				(1)							(1)
参事				1						1	2
消防本部	消防総務課	課長		1							1
		副参事									
		課長補佐			1						1
		主幹									
		庶務係				1	〔1〕				1 〔1〕
		消防団係				2			1		3
		総務課付			1						1
	予防課	課長		1							1
		副参事									
		課長補佐			1						1
		主幹			1						1
		予防係				2	〔1〕		2		4 〔1〕
		危険物係				1					1
		予防課付									
	警防課	課長		1							1
		副参事									
		課長補佐			1						1
		主幹									
		消防係				1		1			2
		救急救助係				1	1 〔1〕				2 〔1〕
		警防課付									
	指令課	課長		(1)							(1)
		副参事			2						2
		課長補佐			(2)						(2)
		主幹			2						2
		管理係				1	1	1			3
		指令第1係				1	2				3
		指令第2係				2		1			3
		指令課付									
小計			1	5 (2)	9 (2)	12	4 〔3〕	3	3	1	38 (4) 〔3〕
消防署	消防署長			1							1
	副署長			1							1
	消防1課 消防2課	消防課長		2							2
		副参事			2						2
		課長補佐			2						2
		主幹			2						2
		庶務係				3	1	3	3		10
		警防係				2	2	2	2		8
		救急係				5	6	2	4		17
		予防係				2	2	2	12		18
	消防1・2課付						〔2〕				〔2〕
	南分署	分署長		1							1
		副参事									
		副分署長			2						2
		主幹			2						2
		庶務係				2	2	2	2		8
		警防係				2	2	1	4		9
		救急係				2	3	3	2		10
	南分署付										
	北分署	分署長		1							1
		副参事									
		副分署長			2						2
		主幹			2						2
		庶務係				2	1	1	4		8
		警防係				2	1 〔1〕	2	6		11 〔1〕
		救急係				3	5	3	5		16
	北分署付						〔1〕				〔1〕
小計				6	14	25	25 〔4〕	21	44		135 〔4〕
合計			1	11 (2)	23 (2)	37	29 〔7〕	24	47	1	173 (4) 〔7〕

※( )は、兼任を示す。
※〔 〕は、再任用短時間職員を示す。

(3)勤続年数別消防職員数

令和7年4月1日現在

区分 / 年数	年号	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員	計
0 年	令和7年							7 (1)		7 (1)
1 年	令和6年							8 (1)	1 (1)	9 (2)
2 年	令和5年							11		11
3 年	令和4年						2	6		8
4 年	令和3年						1	4		5
5 年	令和2年					1	3 (1)	5		9 (1)
6 年	平成31年					1	1	6		8
7 年	平成30年					1	7			8
8 年	平成29年					1	4			5
9 年	平成28年				1	2	3			6
10 年	平成27年					4	1			5
11 年	平成26年					2	1			3
12 年	平成25年				3 (1)	3				6 (1)
13 年	平成24年				3 (2)	2	1			6 (2)
14 年	平成23年				1	3				4
15 年	平成22年				3	3 (1)				6 (1)
16 年	平成21年				3 (1)	1				4 (1)
17 年	平成20年				6 (1)					6 (1)
18 年	平成19年			1	4					5
19 年	平成18年				3					3
20 年	平成17年				2	1				3
21 年	平成16年			1	1					2
22 年	平成15年			2						2
23 年	平成14年			1	1					2
24 年	平成13年			3						3
25 年	平成12年									
26 年	平成11年				1					1
27 年	平成10年			3						3
28 年	平成9年			2						2
29 年	平成8年		1	1						2
30 年	平成7年									
31 年	平成6年			1						1
32 年	平成5年			3		2				5
33 年	平成4年		2	1						3
34 年	平成3年		1							1
35 年	平成2年		1							1
36 年	平成元年			1						1
37 年	昭和63年	1	3		1					5
38 年	昭和62年			1						1
39 年	昭和61年		2							2
40 年	昭和60年									
41 年	昭和59年		1	2	1	2				6
42 年	昭和58年									
43 年	昭和57年									
44 年	昭和56年				2					2
45 年	昭和55年									
46 年	昭和54年				1					1
合 計		1	11	23	37 (5)	29 (1)	24 (1)	47 (2)	1 (1)	173 (10)

※( )は、うち女性を示す。

(4)年齢別消防職員数

令和7年4月1日現在

区別 / 年齢	消防監		消防司令長		消防司令		消防司令補		消防士長		消防副士長		消防士		事務職員		計
18 歳													1				1
19 歳													1				1
20 歳													5				5
21 歳													6				6
22 歳													10				10
23 歳													7				7
24 歳													8				8
25 歳											5		6				11
26 歳											3		2				5
27 歳											6		1				7
28 歳											2						2
29 歳											6						6
30 歳									2		1						3
31 歳									3		1						4
32 歳									8								8
33 歳									5								5
34 歳							2		2								4
35 歳							5										5
36 歳							5		2								7
37 歳							2		1								3
38 歳							4		1								5
39 歳							2										2
40 歳							1										1
41 歳							3		1								4
42 歳							5										5
43 歳					1												1
44 歳							2										2
45 歳					2		1										3
46 歳					5												5
47 歳					1												1
48 歳					3												3
49 歳																	
50 歳					4												4
51 歳			1														1
52 歳			2		1				1								4
53 歳					1				1								2
54 歳			1		2												3
55 歳			2														2
56 歳			1		1		1										3
57 歳			2												1		3
58 歳																	
59 歳	1		2		2				2								7
60 歳							1										1
61 歳										(1)							
62 歳							2			(1)							2
63 歳										(1)							
64 歳							1			(4)							1
合　計	1		11		23		37		29	(7)	24		47		1		173
平　均	59.0		55.2		49.6		41.5		36.3		27.3		22.7		57.0		35.7

※( )は、再任用短時間職員を示す。

(5)教育訓練の状況

令和7年4月1日現在

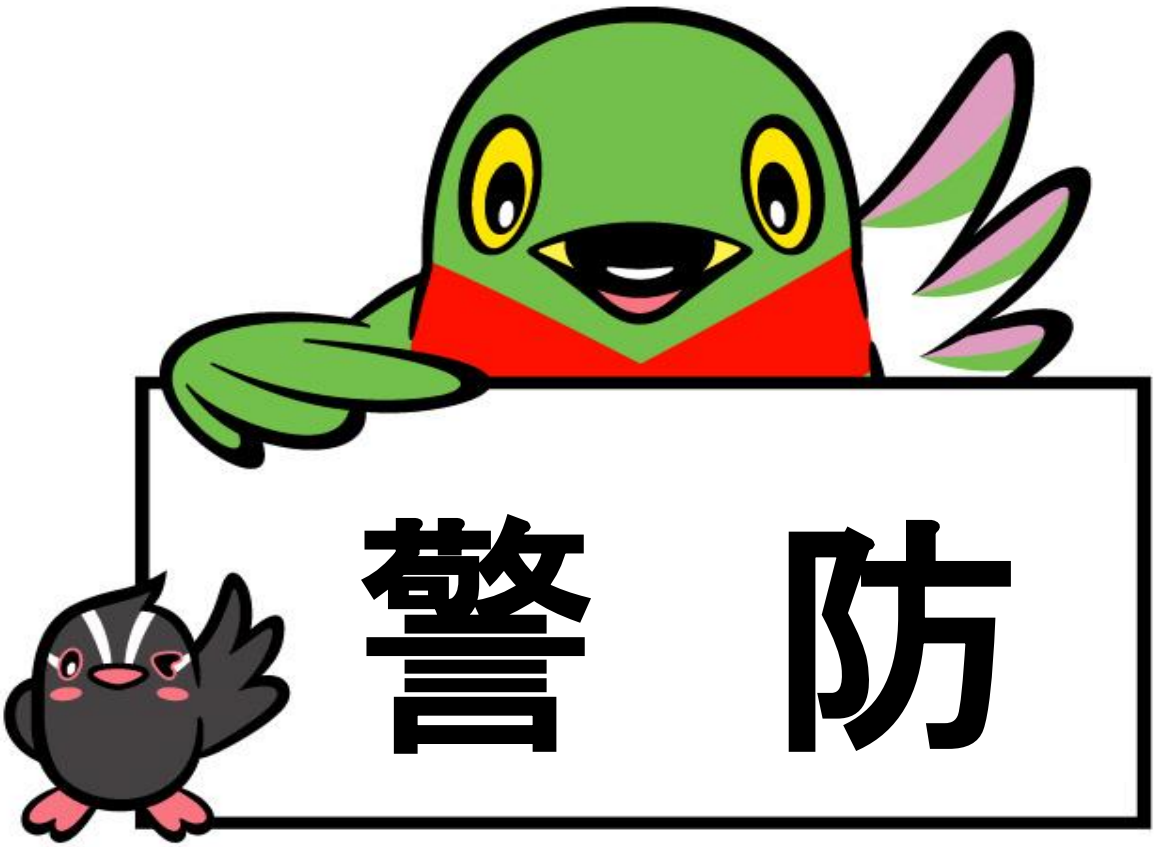
科目＼区分			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
消防大学校	警防科											
	予防科											
	救助科				1							
	救急科			1								
	幹部科		1	1	1	1		2			1	1
	上級幹部科											
	査察業務マネジメントコース				1						1	
	女性活躍推進コース				1	1		1		1		
	消防団活性化コース					1	1	1				
	合計		1	2	4	3	1	4		1	2	1
消防学校	初任教育		7	6	7	9	10	5	8	7	10	5
	専科教育	警防科		1	1	1	1	1	1	2	1	1
		特殊災害科		1		1		1		1		1
		予防査察科		1		2		2		2		1
		火災調査科	2		2		2		2		1	
		救助科	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1
		救急科	6	3	3	5	7	4	7	7	9	9
	幹部教育	初級幹部科	1	1	1	1	1		2	2	2	2
		中級幹部科										
	特別教育	実科指導員	3						2		2	
		幹部特別教育									1	
		警防活動教育	1	1	1	1	1		2	2	1	1
		実火災訓練指導者教育				2						
		実火災訓練教育					6	4	2	5	2	2
	合計		21	15	16	23	29	18	27	29	31	23
救急救命士養成研修(課程)			1				1		1		1	1
救急救命東京研修所				1	1	1				1		1

(6)職員の各種資格取得状況

令和7年4月1日現在

種別＼区分		合計	消防総務課	予防課	警防課	指令課	消防署	南分署	北分署
自動車運転免許	大型免許	81	5	4	3	7	34	15	13
	中型免許	33	1	2	2	1	10	6	11
	中型免許（８ｔ限定）	15	1		1	3	3	4	3
	普通免許（５ｔ限定）	8			1		2	1	4
	普通免許	161	7	8	6	11	59	31	39
	自動二輪車免許	73	1	5	3	6	26	17	15
自動車整備士	２級	2				1	1		
陸上特殊無線技士		144	7	8	6	11	53	26	33
危険物取扱者	乙種第１類	10	1				7	1	1
	乙種第４類	23	1	3	2		12	4	1
	乙種第６類	3					2	1	
	丙種	17	2	1	1	3	3	4	3
消防設備士	甲種第４類	1					1		
	乙種第５類	1							1
	乙種第６類	5	1			1	2		1
予防技術資格者	防火査察	22	1	5	1	1	6	3	5
	消防設備	6		2			3	1	
	危険物	3		1		1			1
小型船舶操縦士		66	3	5	2	4	26	14	12
潜水士		66	3	4	3	6	28	14	8
衛生管理者		8	3	1			2	1	1
玉掛け技能講習		36	2		3	2	18	8	3
小型移動式クレーン運転技能講習		34	1		3	2	18	7	3
足場組立等作業主任者		15		1		2	6	5	1
酸素欠乏危険作業主任者		45	2	3	3	4	21	8	4
特定化学物質等作業主任者		18	2	1	1	1	6	3	4
救急救命士		53	4	1	3	3	18	8	16

累計は、現職に限る


警　防

1　水　利

（1）　消防水利設置状況

種別 / 年度	消火栓		防火水槽		計
	１５０㎜以上	１５０㎜未満	４０㎥級	４０㎥超	
令和3年度	0	5	1 （ 1 ）	0 （ 4 ）	6 （ 5 ）
令和4年度	5	2	0 （ 0 ）	0 （ 6 ）	7 （ 6 ）
令和5年度	2	2	1 （ 1 ）	0 （ 1 ）	5 （ 2 ）
令和6年度	1	1	0 （ 4 ）	1 （ 6 ）	3 （ 10 ）

（　　）は私設水利

（2）　消防水利状況

令和7年 4月1日　現在

区分 / 種別		公設			私設			プール	川の消火栓基地
		消火栓	防火水槽	計	消火栓	防火水槽	計		
南分署	1区	61	6	67	0	13	13	1	1
	2区	52	9	61	0	9	9	1	0
	3区	36	4	40	0	1	1	1	3
	4区	48	1	49	0	12	12	2	1
	5区	34	2	36	0	4	4	1	2
	6区	47	6	53	0	7	7	1	1
	7区	22	3	25	0	2	2	0	0
	8区	50	5	55	0	16	16	1	0
	9区	62	5	67	1	9	10	1	0
	10区	30	1	31	0	11	11	1	0
	小計	442	42	484	1	84	85	10	8
本署	11区	98	10	108	2	47	49	0	0
	12区	47	16	63	0	4	4	0	0
	13区	48	9	57	2	9	11	1	3
	14区	40	1	41	0	20	20	1	3
	15区	54	5	59	2	15	17	0	1
	16区	55	4	58	0	21	21	1	6
	小計	342	45	386	6	116	122	3	13
北分署	17区	39	1	40	4	17	21	0	0
	18区	51	2	53	1	26	27	1	2
	19区	38	11	49	1	3	4	1	0
	20区	41	5	46	1	7	8	0	0
	21区	40	8	48	0	3	3	0	0
	22区	39	2	41	0	8	8	3	0
	23区	19	1	19	8	21	29	6	0
	24区	33	3	36	0	24	24	0	0
	25区	40	6	46	0	12	12	2	1
	26区	31	6	37	0	7	7	0	0
	27区	31	4	35	0	7	7	1	0
	28区	40	8	48	0	7	7	1	0
	29区	27	3	30	0	5	5	1	1
	小計	469	60	528	15	147	162	16	4
合　計		1253	147	1398	22	347	369	29	25

＊　　指定消防水利も含む

２　消防本部・署車両の配置状況

令和７年４月１日現在

	種別	車名・形式	車両番号	初年度登録年月日	エンジン排気量	ポンプ級別	乗員定員	備考
消防本部	公用車	ホンダ　DBA－GB5	春日部５３１み１７０３	平成 29 年　3 月	１．４９		6	
	連絡車（消防総務課）	ホンダ　DBA－RP1	春日部５０１み７３１６	平成 28 年　3 月	１．４９		8	
	予防１号車	ニッサン CBF－CSGE25	春日部８００す３５８７	平成 20 年　2 月	２．４８		8	
	予防２号車	ホンダ　DBA－RP1	春日部８３０さ１６１１	平成 28 年 11 月	１．４９		8	
	広報車（軽）	ホンダ　DBA－JF1	春日部５８５き　１１９	平成 28 年　8 月	０．６５		4	自主防犯活動用自動車
	団本部公用車	トヨタ　CBA－NCP58G	春日部５０１な６８３３	平成 22 年　5 月	１．４９		5	消防団顧問寄贈車
	指令車（防災活動車）	ニッサン ABF－SKP2MN	春日部８００す５６１４	平成 23 年　2 月	１．７９		5	日本消防協会寄贈車
	防災活動車（軽）	ニッサン HBD－DR17V	春日部８８０あ１０４８	平成 28 年 12 月	０．６５		4	日本消防協会寄贈車
	防火安全車	トヨタ　3BF-TRH223B	春日部２３０さ２００９	令和　2 年　9 月	２．６９		１４	防火安全協会寄贈車
消防署（本署）	指揮車	トヨタ　3BF－TRH226S	春日部８３０せ２３０２	令和　5 年　3 月	２．６９		5	
	水そう付ポンプ車	日野 BDG－GX７JGWA 改	春日部８３０さ２０１０	平成 22 年 12 月	６．４０	Ａ２級	6	水そう　1,500ℓ　・(緊援登録車両)
	救助工作車	日野 2PG－GX2ABA	春日部８３０す３３１０	令和　4 年　2 月	５．１２		5	クレーン、ウインチ、照明
	化学車	日野 2PG－GD2ABA	春日部８３０す２００３	令和　2 年　3 月	５．１２	Ａ２級	6	水そう　1,500ℓ　薬液槽Ａ 30ℓ・Ｂ 300ℓ
	はしご車	日野 QDG－PR1APEF	春日部８３０す１６０１	平成 28 年　1 月	８．８６		6	はしご伸長 40m
	救急車	トヨタ 3BF－TRH226S	春日部８３０さ２５０３	令和　7 年　2 月	２．６９		7	災害対応特殊救急自動車
	救急車	トヨタ CBF－TRH226S	春日部８３０せ１９０２	平成 31 年　2 月	２．６９		7	災害対応特殊救急自動車
	救急車	トヨタ CBF－TRH226S	春日部８３０さ１４０３	平成 26 年　3 月	２．６９		7	災害対応特殊救急自動車
	救急車	トヨタ CBF－TRH226S	春日部８３０さ１４１１	平成 25 年　2 月	２．６９		7	災害対応特殊救急自動車
	消防ポンプ車	日野 PD－XZU334M	春日部８００す　７６３	平成 17 年　3 月	４．００	Ａ２級	6	
	資機材運搬車	日野 PB－XZU414M	春日部８００す１８５５	平成 18 年　3 月	４．００		3	リアパワーゲート付　(緊援登録車両)
	小型貨物車	トヨタ ABF－S412U	春日部４００ち９０４７	平成 24 年　3 月	１．４９		2	最大積載量　650 kgリアパワーゲート付
	トレーラー	ソレックス	春日部８００る１１４７	令和　4 年　8 月				最大積載量　400 kg
南分署	先行車	ニッサン 3BA－KS6E26	春日部８００せ２３２６	令和　5 年　2 月	２．４８		１０	
	水そう付ポンプ車	日野 2PG-GX2ABA	春日部８３０そ２１０３	令和　3 年　3 月	５．１２	Ａ２級	6	水そう　1,800ℓ　薬剤タンク 20ℓ (緊援登録車両)
	普通ポンプ車	日野 SKG－XZU640M	春日部８３０せ２０１２	平成 24 年　3 月	４．００	Ａ２級	5	水そう 550ℓ、サイドプル吸管、電動ホースカー
	救急車	トヨタ 3BF－TRH226S	春日部８３０す２３０２	令和　5 年　2 月	２．６９		7	災害対応特殊救急自動車
	救急車	トヨタ CBF－TRH226S	春日部８３０さ１３０２	平成 25 年　2 月	２．６９		7	災害対応特殊救急自動車
	積載車	いすゞSKG－NHS85A	春日部８００す６２３１	平成 24 年　3 月	２．９９	Ｂ２級	6	小型動力ポンプ（シバウラ FZ700）
	トレーラー	ソレックス	春日部８００る１０８０	令和　3 年　8 月				最大積載量　400 kg
北分署	先行車	ダイハツ 5BA-A210S	春日部８３０す２１１０	令和　3 年 10 月	０．９９		5	
	水そう付ポンプ車	日野 2PG－GX2ABA	春日部８３０さ２４０６	令和　6 年　6 月	５．１２	Ａ２級	6	水そう　2,000ℓ
	普通ポンプ車	日野 BDG－XZU334M	春日部８００す４３２３	平成 21 年　2 月	４．００	Ａ２級	5	水そう 700ℓ、サイドプル吸管、電動ホースカー
	救急車	トヨタ 3BF－TRH226S	春日部８３０さ２１０１	令和　3 年　1 月	２．６９		7	災害対応特殊救急自動車 (緊援登録車両)
	救急車	トヨタ 3BF－TRH226S	春日部８３０す２５０２	令和　7 年　2 月	２．６９		7	災害対応特殊救急自動車
	積載車	いすゞSKG－NHS85A	春日部８００す６２３０	平成 24 年　3 月	２．９９	Ｂ２級	6	小型動力ポンプ(シバウラ FZ700)
	トレーラー	ソレックス	春日部８００る１００４	令和　2 年　8 月				最大積載量　400 kg

3　消防用機械器具保有状況

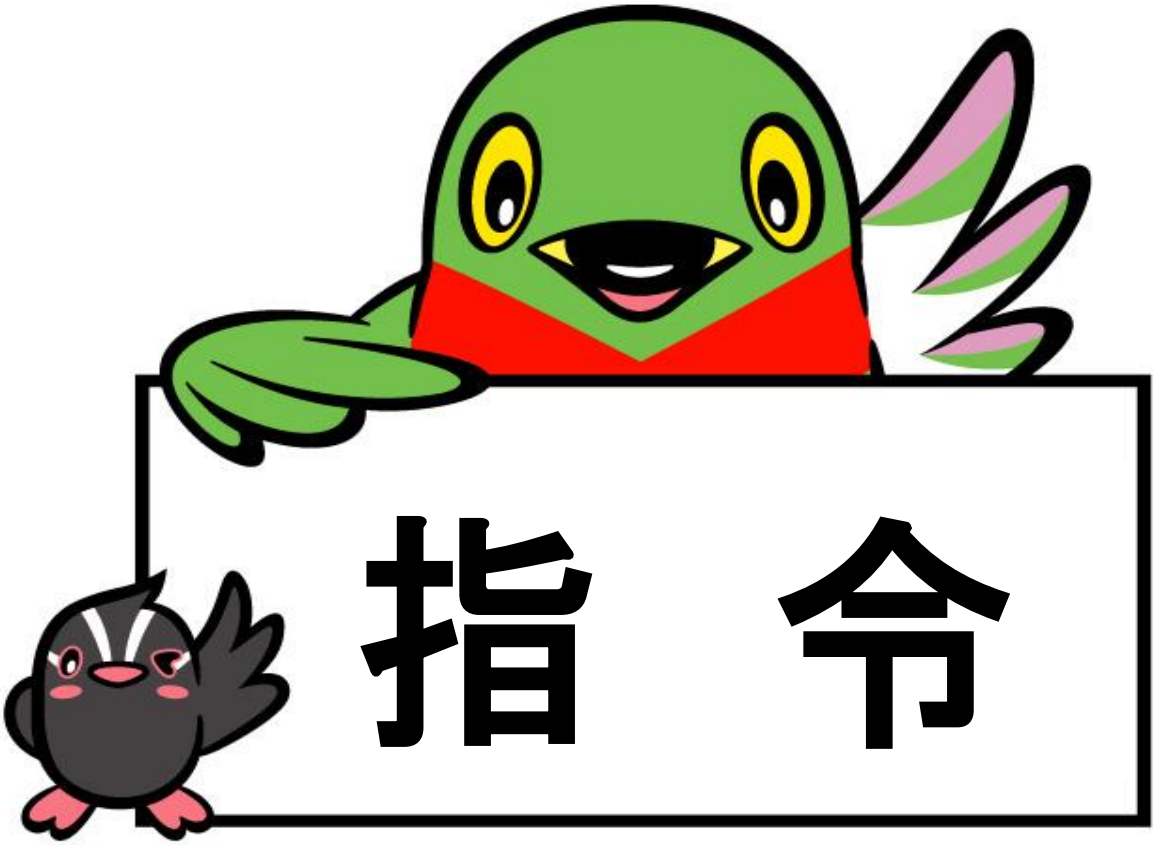
令和７年４月１日現在

	機械器具名	数量			種別	機械器具名	数量		
		本署	南分署	北分署			本署	南分署	北分署
一般救助器具	かぎ付きはしご	4	2	2	呼吸保護用器具	空気呼吸器	20	9	11
	三連はしご	3	2	2		空気補充用ボンベ	38	19	13
	金属製折りたたみはしご	1				酸素呼吸器	5		
	空気式救助マット	1				簡易呼吸器	4		
	救命索発射銃	1				防塵マスク	10	16	12
	救助用縛帯	6	3	1		送排風機	4	2	2
	平型担架・バスケット型担架	4	1	1					
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	1	1		隊員保護用器具	耐電手袋	9	1	1
	油圧スプレッダー	1				耐電衣	4	1	1
	可搬ウィンチ	1	1	1		耐電ズボン	4	1	1
	マンホール救助器具	2				耐電長靴	4	2	2
	救助用簡易起重機	1				防塵メガネ	21		
	マット型空気ジャッキ	2				携帯警報器	20	12	10
	大型油圧スプレッダー	1	1			防毒マスク	19	3	6
	救助用支柱器具	2				化学防護服	25		
						陽圧式化学防護服	6		
						放射線防護服	10		
切断用器具	油圧切断機	1			水難救助器具	潜水器具	7		
	エンジンカッター	3	2	2		救命胴衣	36	21	36
	ガス溶断器	1				水中投光器	6		
	チェーンソー	5	2	2		救命浮環	4	3	2
	鉄線カッター	8	3	5		浮標	1		
	空気式鋸	1				救命ボート	3	1	1
	大型油圧切断機	1	1			船外機	2	1	1
	空気式切断機	1				水中無線機	1		
	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	1				水中時計	1		
						水中テレビカメラ	1		
破壊用器具	万能斧（トップマン・弁慶）	13	5	7	高度救助器具				
	ハンマー	3	2	2		画像探索機	1		
	携帯用コンクリート破壊器具	1				地中音響探知機	1		
	削岩機	2				熱画像直視装置	6	1	1
	ハンマードリル	1				地震警報器	1		
検知・測定用器具	生物剤検知器	0			その他の救助器具	投光器	4	3	3
	可燃性ガス測定器	5	2	2		携帯投光器	24	8	6
	有毒ガス測定器	6	2	2		携帯拡声器	6	3	4
	酸素濃度測定器	5	2	2		携帯無線機	14	5	6
	化学剤検知器	1				応急処置セット	5	3	4
	放射線測定器	5				車両移動器具	2		
除染用器具	除染シャワー歩行可能者用	1				緩降機	2		
	除染シャワー歩行可能者用、担架用	1				ロープ登降機	2		
	除染剤散布器	2				救助用降下機	8		
						発電機	6	2	3

4　消防相互応援協定

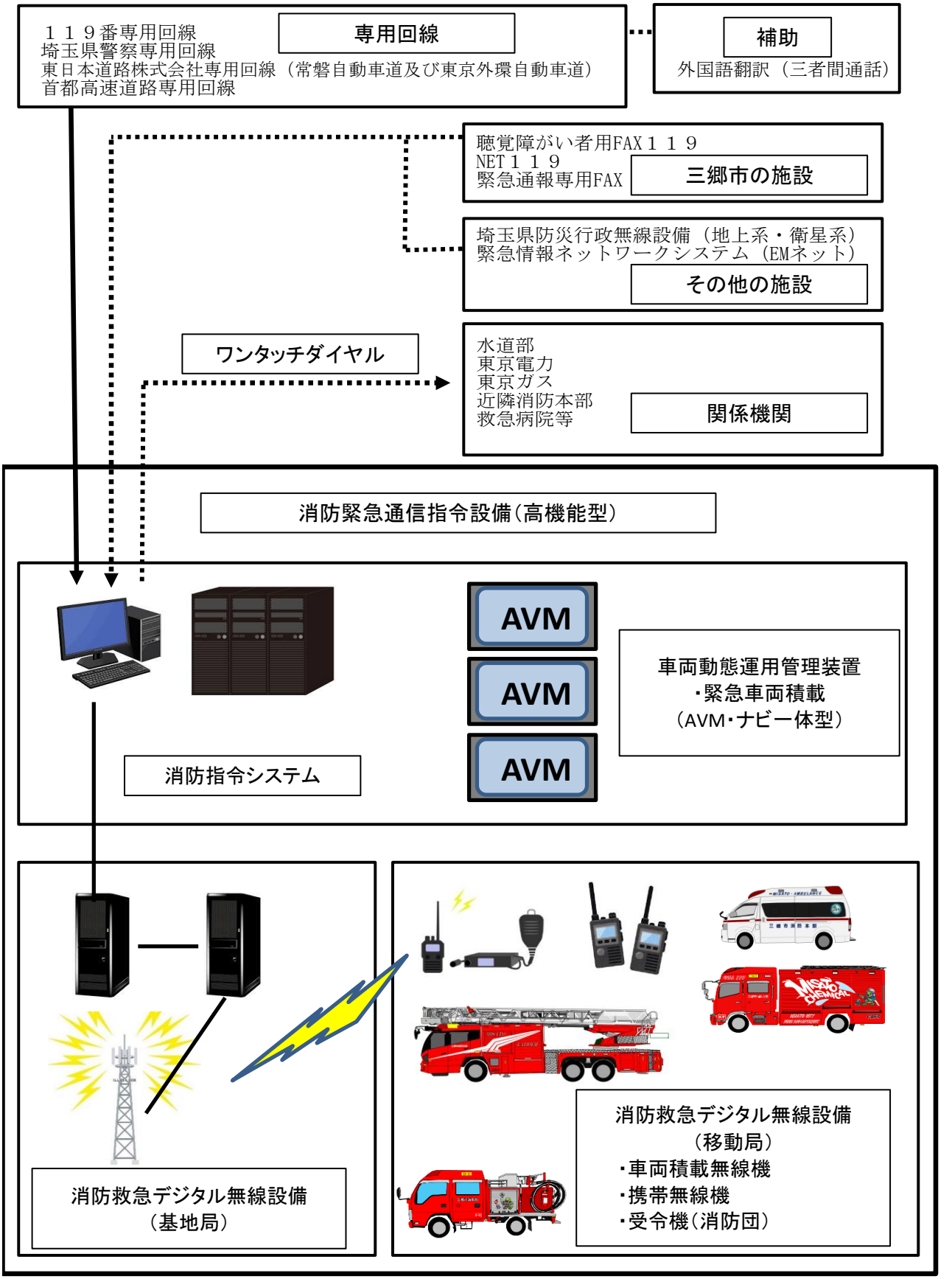
令和７年４月１日現在

締結年月日	都市町名	内容
昭和40年 1月23日	東京都	普通・特別応援
平成 3年 4月 1日	流山市	普通・特別応援
昭和58年11月30日	吉川松伏消防組合	普通・特別応援
昭和53年 7月 5日	越谷市	特別応援
平成19年 7月 1日	埼玉県下消防相互応援協定	
平成 3年 3月29日	埼玉県防災ヘリコプター応援協定	
平成30年 6月 2日	東京外環自動車道消防相互応援協定（高谷JCT～大泉IC）	
平成10年 3月20日	松戸市	普通・特別応援
平成31年 2月 1日	茨城県高速自動車道等消防相互応援協定	
平成28年 4月 1日	草加八潮消防組合	普通・特別応援
平成30年11月20日	市川市	ドクターヘリコプター臨時離着陸場
令和 3年 3月17日	流山市	ドクターヘリコプター臨時離着陸場


指　令

１　指　令

（１）指令系統図


１１９番専用回線
埼玉県警察専用回線
東日本道路株式会社専用回線（常磐自動車道及び東京外環自動車道）
首都高速道路専用回線
専用回線
補助
外国語翻訳（三者間通話）
聴覚障がい者用FAX１１９
NET１１９
緊急通報専用FAX
三郷市の施設
埼玉県防災行政無線設備（地上系・衛星系）
緊急情報ネットワークシステム（EMネット）
その他の施設
ワンタッチダイヤル
水道部
東京電力
東京ガス
近隣消防本部
救急病院等
関係機関
消防緊急通信指令設備（高機能型）
AVM
AVM
AVM
車両動態運用管理装置
・緊急車両積載
（AVM・ナビ一体型）
消防指令システム
消防救急デジタル無線設備
（基地局）
消防救急デジタル無線設備
（移動局）
・車両積載無線機
・携帯無線機
・受令機（消防団）

(2) 通信設備　　令和7年4月1日現在

区分＼種別	一般電話	携帯電話	119番専用電話	指令専用電話	埼玉県防災行政無線	警察専用電話	高速道路専用電話	消防無線電話		緊急通報電話等
								車載移動局	携帯移動局	
消防本部及び消防署	19(3)	21	6	1	2(2)	1	2	15 (可搬型1含む)	14	4(2)
南分署	3(1)	5	－	1	－	－	－	5	5	－
北分署	3(1)	7	－	1	－	－	－	6	6	－

※( )内の数値は、FAX電話を示す。

(3) 119番専用電話等入電件数　　令和6年

		火災	救急 (PA出場含む)	救助	他災害	問合せ	試験	不明いたずら	間違い (携帯誤操作含む)	転送		合計
										受信	送信	
1月	固定	6	299	0	51	46	16	2	5	2	0	425
	携帯	12	393	4	84	90	5	18	28	44	34	668
	その他	4	25	4	26	29	2	0	0	0	0	90
2月	固定	0	296	2	2	43	22	7	3	4	1	376
	携帯	2	422	2	0	70	8	24	37	39	29	594
	その他	2	42	0	6	26	0	0	1	0	0	77
3月	固定	0	319	1	2	35	51	13	7	0	2	430
	携帯	3	439	5	4	78	14	32	23	50	39	637
	その他	3	57	3	6	26	2	0	0	0	0	97
4月	固定	0	284	2	0	16	29	5	10	2	2	348
	携帯	0	366	1	9	70	18	39	37	40	29	569
	その他	1	42	3	2	24	1	0	0	0	0	73
5月	固定	0	266	0	1	19	22	12	14	3	0	334
	携帯	1	438	0	10	60	11	18	34	57	34	606
	その他	1	44	0	5	24	3	0	1	0	0	78
6月	固定	4	278	0	0	21	30	9	11	1	1	354
	携帯	7	422	1	3	64	12	21	37	55	46	613
	その他	4	58	1	5	22	0	0	0	0	0	90
7月	固定	2	336	0	0	38	15	9	20	2	0	420
	携帯	0	503	0	5	101	2	29	46	53	45	731
	その他	2	67	4	4	32	2	0	68	0	0	179
8月	固定	1	302	1	0	23	12	5	9	0	0	353
	携帯	7	440	6	14	105	2	26	45	49	38	683
	その他	7	61	6	4	22	0	0	1	0	0	101
9月	固定	3	238	1	6	21	39	16	24	1	2	350
	携帯	23	454	3	15	86	8	27	35	46	40	691
	その他	6	40	4	1	19	1	0	0	0	0	71
10月	固定	0	271	1	2	22	43	14	12	0	1	366
	携帯	4	425	3	4	72	6	20	25	54	39	598
	その他	3	49	0	3	29	2	0	2	0	0	88
11月	固定	0	289	1	1	14	59	5	7	0	0	376
	携帯	2	416	2	4	47	8	23	17	46	29	548
	その他	3	71	3	4	18	0	0	1	0	0	100
12月	固定	1	328	0	4	26	21	1	9	1	0	390
	携帯	7	503	4	14	104	10	45	29	72	46	762
	その他	7	71	1	5	57	0	1	0	0	0	142
合計	固定	17	3,506	9	69	324	359	98	131	16	9	4,522
	携帯	68	5,221	31	166	947	104	322	393	605	448	7,700
	その他	43	627	29	71	328	13	1	74	0	0	1,186
総計		128	9,354	69	306	1,599	476	421	598	621	457	13,408

※ 固定電話は、IP電話含む。　　※ 入電件数合計に転送(受信)は含まず。
※ その他は、一般電話、警察専用電話及び高速専用電話等。
※ 転送は、他市消防本部等から転送(受信)及び他市消防本部への転送(送信)

(4) 緊急通報専用電話等入電件数

令和6年

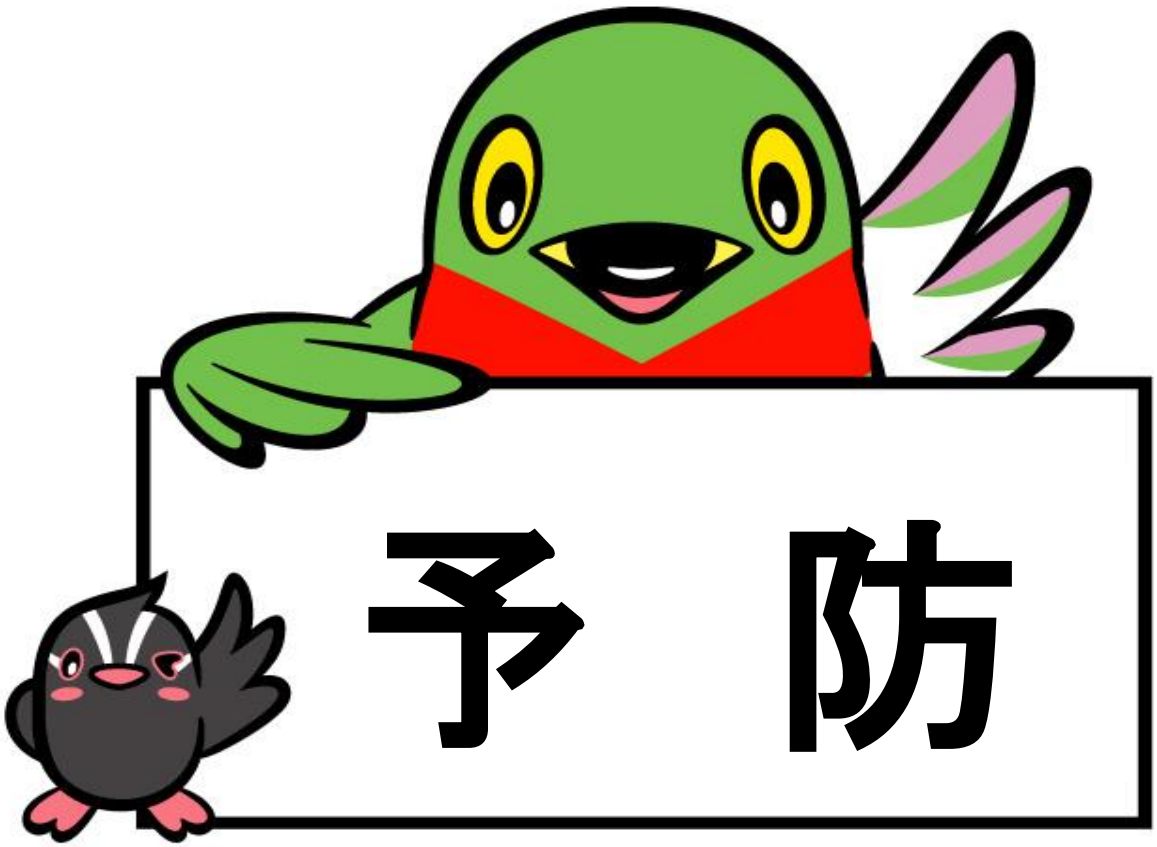
種別／月別	火災			救急			救助			その他				合計
	緊急通報	FAX 119	NET 119	緊急通報	FAX 119	NET 119	緊急通報	FAX 119	NET 119	緊急通報	うち無言通報	FAX 119	NET 119	
1 月	0	0	0	6	0	1	0	0	0	2	1	0	0	9
2 月	0	0	0	9	0	0	0	0	0	3	1	0	0	12
3 月	0	0	0	11	0	0	0	0	0	1	0	0	1	13
4 月	0	0	0	6	0	0	0	0	0	2	2	0	1	9
5 月	0	0	0	6	0	0	0	0	0	3	3	0	0	9
6 月	0	0	0	7	0	0	0	0	0	1	1	0	0	8
7 月	0	0	0	8	0	0	0	0	0	2	1	0	0	10
8 月	0	0	0	16	0	0	0	0	0	1	1	0	0	17
9 月	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
10 月	0	0	0	8	0	0	0	0	0	2	0	0	0	10
11 月	0	0	0	7	0	0	0	0	0	3	1	0	0	10
12 月	0	0	0	9	0	0	1	0	0	7	3	0	0	17
合 計	0	0	0	102	0	1	1	0	0	27	14	0	2	133

※FAX119は聴覚障がい者用ファックスを含む ※NET119緊急通報システム登録者数 97名

2 気象観測状況

令和6年

区分／月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	最高・最低 最大・合計 平均
気温(℃)	最高	14.3	23.1	27.8	30.8	32.0	36.5	41.2	39.1	37.0	33.2	22.7	16.7	41.2
	最低	-1.2	-1.6	0.5	6.5	14.0	16.0	22.3	24.4	17.3	10.0	3.8	-1.5	-1.6
	平均	6.1	7.3	9.2	17.4	21.5	24.1	29.7	30.2	27.2	20.5	13.2	7.1	17.8
湿度(%)	最少	14.1	20.8	10.0	21.1	23.8	31.6	30.8	35.0	40.5	39.9	25.8	18.3	10.0
	平均	52.2	60.0	55.8	67.6	68.7	71.9	71.7	72.6	76.4	77.5	68.2	53.8	66.4
風向	最多	北北西	北北西	北北西	東	南	南	南	南	南	北北西	北北西	北北西	
風速(m/s)	最大	19.6	23.2	26.0	24.1	27.5	15.7	19.1	17.7	17.8	15.2	18.4	19.7	27.5
	平均	2.3	2.8	2.9	2.4	2.8	2.3	2.2	2.9	2.8	2.4	2.0	2.0	2.5
降水量(㎜)	降水量	34.5	60.0	134.0	69.5	84.5	226.5	136.5	196.0	55.0	112.0	64.5	0.0	226.5
	一日最大	30.5	31.5	31.0	37.0	28.0	67.5	32.5	63.0	40.5	38.5	29.0	0.0	67.5
天候別日数	晴	25	14	18	9	17	15	14	15	15	9	22	27	200
	曇	4	9	9	16	8	10	14	14	13	18	7	4	126
	雨	2	5	4	5	6	5	3	2	2	4	1	0	39
	雪	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	計	31	29	31	30	31	30	31	31	30	31	30	31	366



急ぐ日も
足止め火を止め
準備よし

2025年度全国統一防火標語

1　防火対象物の数

各年3月31日現在

用途		令和5年	令和6年	令和7年
（1）	イ　劇場、映画館、演芸場、又は観覧場	1	1	1
	ロ　公会堂又は集会場	２７	２７	２７
（2）	イ　キャバレー、カフェー、ナイトクラブ ロ　遊技場又はダンスホール ハ　性風俗関連特殊営業を含む店舗等 ニ　カラオケボックス等	6	6	6
（3）	イ　待合、料理店	1	1	1
	ロ　飲食店	６４	９４	６３
（4）	百貨店、マーケット等	１５８	１７４	１５６
（5）	イ　旅館、ホテル、又は宿泊所	6	7	6
	ロ　寄宿舎、下宿、又は共同住宅	1，３２１	1，３４０	１３７０
（6）	イ　病院、診療所、又は助産所	４５	４６	５５
	ロ　老人福祉施設等	４８	５０	５０
	ハ　老人福祉施設等	６５	６７	７２
	ニ　幼稚園、養護学校等	１３	１３	１２
（7）	小学校、中学校、高等学校等	８４	８３	８１
（8）	図書館、博物館、美術館	4	4	4
（9）	イ　蒸気浴場、熱気浴場	2	2	2
	ロ　イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	1	1	
(10)	車両の停車場、船舶・航空機の発着場	3	3	3
(11)	神社、寺院、教会	２６	２６	２５
(12)	イ　工場又は作業場	４２１	４３０	４３４
	ロ　映画スタジオまたはテレビスタジオ			
(13)	イ　自動車車庫又は駐車場	２６	２６	２７
	ロ　飛行機又は回転翼航空機の格納庫			
(14)	倉　庫	４７４	４８０	４８６
(15)	前各項に該当しない事業場	３１６	３１８	３１９
(16)	イ　特定複合用途防火対象物	２４４	２４９	２４８
	ロ　イに掲げる以外の複合用途防火対象物	１３１	１３１	１３６
(17)	重要文化財等			
計		3，４８７	3，５７９	3，５８４

＊６項ロ　老人短期入所施設等　　６項ハ　老人デイサービスセンター等

＊７項については、学校体育館、施設等を含む

＊防火対象物実態調査より（延面積150㎡以上を抽出。ただし、６項イ（病院等）、６項ロ(老人短期入所施設)については実数表示とする）

＊平成３１年より、ららぽーと新三郷内の各テナントは3項4項に計上せず、16項イ１件とする

2　中高層建築物数

（1）用途別階層別数

令和 7 年 3 月 31 日現在

用途＼階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	19階	21階	25階	計
(2) ロ　遊技場、ﾀﾞﾝｽﾎｰﾙ		1													1
(5) イ　旅館等	1		1			1									3
(5) ロ　共同住宅等	258	23	17	41	12	13	34	8	8	24	2	1	3	1	445
(6) イ　病院等	1		2												3
(6) ロ　老人ホーム等		1	1												2
(7)　学校	3														3
(12) イ　工場等	1	2													3
(13) イ　駐車場等		1													1
(14)　倉庫	4	2													6
(15)　事務所等	3	1		1											5
(16) イ　特定複合	20	5	1		2	2	2	1		1					34
(16) ロ　一般複合	2	3	2	4		1									12
計	293	39	24	46	14	17	36	9	8	25	2	1	3	1	518

（2）地区別階層別数

令和 7 年 3 月 31 日現在

地区＼階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	19階	21階	25階	計
東和	12	7	10	11	1	2	1	2							46
彦成	11	4	1	3	1										20
早稲田	37	28	11	12	12	15	5	5	3	10	2	1		1	142
みさと団地	162		2	19			30			4					217
さつき平								2	5	11			3		21
早稲田団地	71			1											72
計	293	39	24	46	14	17	36	9	8	25	2	1	3	1	518

※中央地区（前東和地区を含む）が早稲田地区へ反映されたものを集計。

3　消防同意事務

（1）申請別建築確認同意事務処理件数　　令和６年度

区分 / 月		新築	増築	改築	用途変更	その他	計
令和６年	4月	１７	1				１８
	5月	１６	3				１９
	6月	１２	1	1			１４
	7月	１８	2				２０
	8月	7					7
	9月	１５					１５
	10月	１０	1				１１
	11月	１７	2				１９
	12月	１８	1				１９
令和　7年	1月	１３					１３
	2月	7	1				8
	3月	１１	3				１４
計		１６１	１５	1			１７７

（2）用途別建築確認同意事務処理件数　　令和６年度

用途	件数	用途	件数
（1）イ　劇場等 ロ　集会場等		(10)　車両の停車場等	
		(11)　神社等	
（2）イ　キャバレー等 ロ　遊技場等 ハ　性風俗関連 ニ　カラオケボックス等		(12) イ　工場等 ロ　映画スタジオ等	4
（3）イ　料理店等 ロ　飲食店等	4	(13) イ　自動車車庫等 ロ　飛行機の格納庫等	
（4）　店舗等	1	(14)　倉　庫	２３
（5）イ　ホテル等 ロ　共同住宅等	２２	(15)　前各号に該当しない事業所	１０
		(16) イ　特定複合用途防火対象物 ロ　イ以外の複合用途防火対象物	1
（6）イ　病院等 ロ　福祉施設等 ハ　福祉施設等 ニ　幼稚園等	2 1 1	住　宅　等	１０８
（7）　学　校　等			
（8）　図書館等			
（9）イ　蒸気浴場等 ロ　イ以外の公衆浴場		合　　計	１７７

4　消防用設備等の届出状況

令和６年度

区分 / 設備等	設置届	工事着工届
消火器	１０９	
屋内消火栓設備	9	１５
スプリンクラー設備	１９	5
ハロゲン化物消火設備	1	1
粉末消火設備	4	4
水噴霧消火設備		
泡消火設備	2	1
不活性ガス消火設備		
二酸化炭素消火設備		
屋外消火栓設備		2
動力消防ポンプ設備		
自動火災報知設備	１１８	６５
漏電火災警報器	1	
総合操作盤		
非常警報設備	３１	5
避難器具	１９	6
誘導灯	１２６	
連結送水管	4	3
非常コンセント設備	2	
連結散水設備		
排煙設備	１０	
消防用水		
消防機関へ通報する火災報知設備	3	4
計	４５８	１１１

5　火災予防条例等に伴う各種届出状況

令和６年度

種別	件数	種別	件数
発電設備	2	揚煙届	５７
変電設備	２８	煙火打上げ・仕掛け届	4
蓄電池設備	7	催物開催届	２０
急速充電設備	0	道路工事届	２８６
ネオン管灯設備	0	露店開設届	６６
水素ガス気球届	0	水道断減水届	0
指定可燃物届	4	火薬類譲受許可申請	0
少量危険物届	１６	火薬類煙火消費許可申請	2
炉・ボイラー等設備届	１３	計	５１１
液化石油ガス設備工事届	1		
液化石油ガス貯蔵取扱届	2		
毒劇物等貯蔵取扱届	3		

6　危険物施設の数

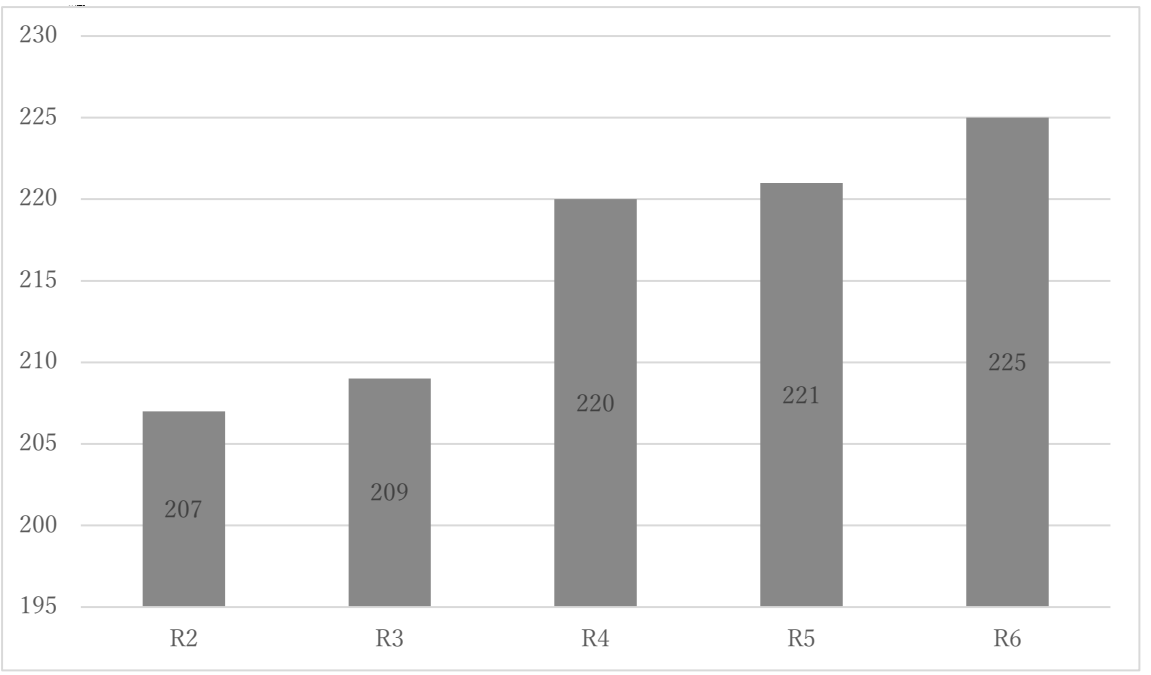
消防法で定める別表第１の品名欄の物品を貯蔵又は取り扱う危険物事業所数は、１０６事業所、危険物施設数は２２５施設あり、それを種類別に分けると下表のとおりである。

（１）施設の種類別施設数

令和７年３月31日現在

施設の種類		施設数
製造所		2
貯蔵所	屋外貯蔵所	2
	屋内貯蔵所	２７
	屋外タンク貯蔵所	8
	屋内タンク貯蔵所	6
	地下タンク貯蔵所	４１
	移動タンク貯蔵所	６３
取扱所	給油取扱所	４３
	第２種販売取扱所	1
	一般取扱所	３２
計		２２５

危険物施設数の推移（５年間）



（2）危険物の種類別施設数

令和7年3月31日現在

区分＼種別		第一類	第二類	第三類	第四類	第五類	第六類	混在	計
製造所					2				2
貯蔵所	屋外				2				2
	屋内				25			2	27
	屋外タンク				8				8
	屋内タンク				6				6
	地下タンク				41				41
	移動タンク				63				63
取扱所	給油				43				43
	第2種販売				1				1
	一般				32				32
計					223			2	225

（3）危険物の貯蔵・取扱い数量別施設数

令和7年3月31日現在

区分＼指定数量		5倍以下	5倍を超え10倍以下	10倍を超え50倍以下	50倍を超え100倍以下	100倍を超え150倍以下	150倍を超え200倍以下	200倍を超えるもの	計
製造所			2						2
貯蔵所	屋外		1					1	2
	屋内	12	6	8	1				27
	屋外タンク	2	2	4					8
	屋内タンク	4	1	1					6
	地下タンク	18	4	13	2		2	2	41
	移動タンク	26	2	5	1	16		13	63
取扱所	給油		6	16	2		5	14	43
	第2種販売			1					1
	一般	10	10	10	1			1	32
計		72	34	58	7	16	7	31	225

（４）地名別危険物施設数

令和７年３月31日現在

施設の区分 / 地名	製造所	貯蔵所						取扱所			計
		屋外	屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	移動タンク	給油	第二種販売	一般	
東町										1	1
泉								1		2	3
岩野木						1					1
インター南			3		2		2	2		2	11
采女								1			1
上口							2	2			4
上彦川戸			2			2	1	1			6
上彦名				1		2		1		2	6
幸房								1			1
駒形						1	32	2			35
小谷堀			1			1				1	3
栄							1	3			4
下彦川戸								1			1
新三郷ららシティ			1			3		2		1	7
新和		1			1	8	1	4		3	18
前間								1			1
高州											
鷹野			3	2		4	1	1		2	13
田中新田							2			1	3
中央			1			1	2	1		1	6
戸ヶ崎	2		3	2		3	5	3		2	20
仁蔵						1					1
花和田			1			1				1	3
番匠免						3	5	2		3	13
半田							7	2			9
ピアラシティ			1			1		2		1	5
彦糸								1			1
彦江			2	2	1	2				3	10
彦川戸		1	4	1	1			3		2	12
彦成			1					1			2
南蓮沼			1			1		1		1	4
茂田井						5		1		2	8
谷口			1			1	2	2	1	1	8
早稲田			2		1			1			4
合計	2	2	27	8	6	41	63	43	1	32	225

7　危険物関係事務取扱い件数

令和６年度

区分＼種別		許可		完成検査		完成検査前検査		仮使用	仮貯蔵仮取扱い
		設置	変更	設置	変更	水張	水圧		
製造所						4			
貯蔵所	屋外	1		1					22
	屋内	1							
	屋外タンク					1			
	屋内タンク								
	地下タンク	3							
	移動タンク	5	6	6	6				
取扱所	給油		2		2				
	第２種販売								
	一般					1		1	1
計		10	8	7	8	6		1	23

令和６年度

区分		件数
危険物保安監督者選解任届		20
危険物製造所等品名、数量又は倍数変更届		4
危険物製造所等譲渡・引渡届		1
公安委員会への通報		
予防規程	制定	
	変更	5
危険物製造所等廃止届		4
軽微な変更工事届出		22
危険物製造所等使用休止再開届		
危険物取扱従事者届出		21
設置者氏名（名称）変更届		44
地下貯蔵タンク等の在庫の管理及び危険物の漏えい時の措置に関する計画届		

8　液化石油ガス地名別販売事業所数

令和 7 年 3 月 31 日現在

地　　名	件　　数
東　　町	1
泉	1
栄	1
高　　州	2
田　中　新　田	1
戸　ヶ　崎	1
茂　田　井	1
三　　郷	1
番　匠　免	1
計	１０

安全でいつも安心して住めるまちづくりにご協力願います。

9　立入検査実施状況

（1）防火対象物

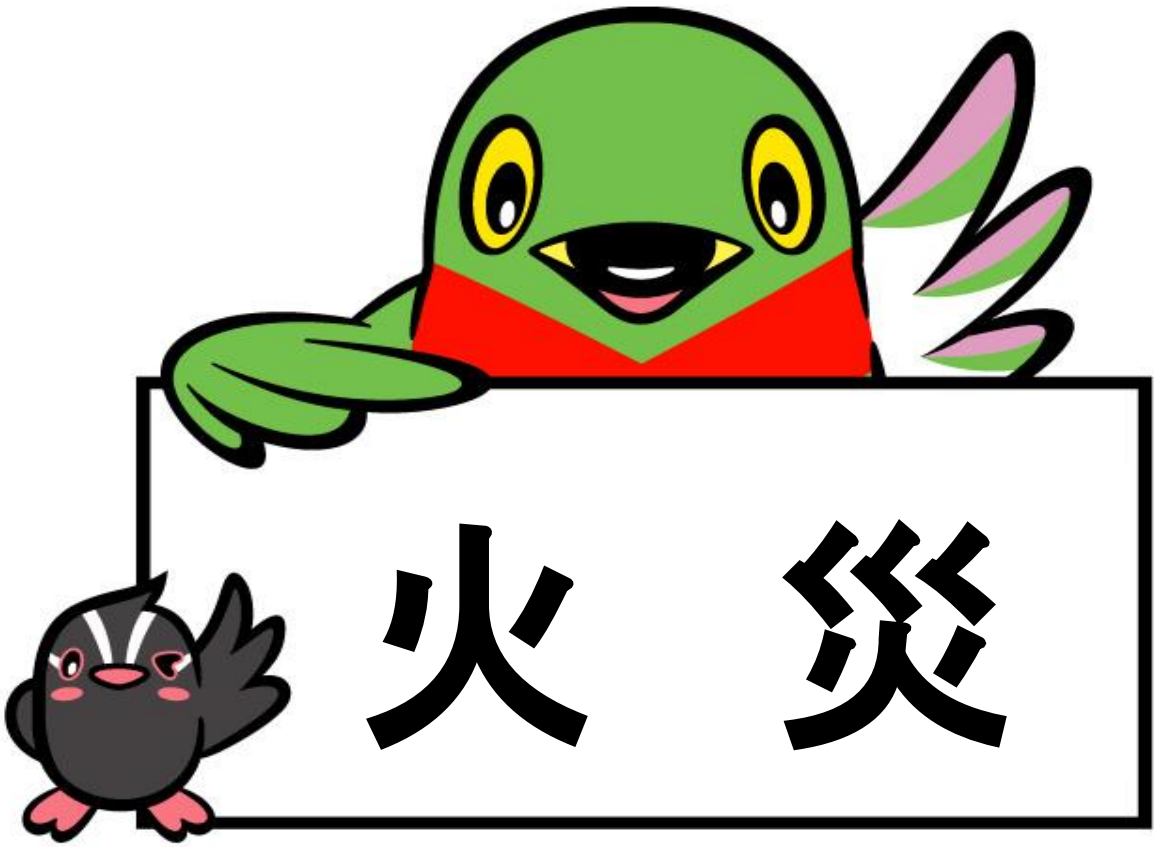
令和6年度

用　　途　　別	件数
1項イ　公会堂又は集会場	1
1項ロ　劇場、映画館、演芸場又は観覧場	1
2項ロ　遊技場又はダンスホール	
3項ロ　飲食店	
4項　百貨店、マーケット等	２６
5項イ　旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	2
5項ロ　寄宿舎、下宿又は共同住宅	
6項イ　病院、診療所又は助産所	1
6項ロ　特別養護老人ホーム等	1
6項ハ　老人福祉施設等(6項ロに掲げるものを除く)	６４
6項ニ　幼稚園又は特別支援学校	7
9項イ　蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場	
12項イ　工場又は作業場	
13項イ　自動車車庫又は駐車場	
14項　倉庫	1
15項　前各項に該当しない事業所	2
16項イ　複合用途防火対象物で特定用途部分を有するもの	6
16項ロ　複合用途防火対象物で特定用途部分を有しないもの	
計	１１２

（2）危険物施設

令和6年度

施　設　の　区　分		件数
貯蔵所	屋外貯蔵所	1
	屋内貯蔵所	7
	屋外タンク貯蔵所	2
	屋内タンク貯蔵所	2
	地下貯蔵所	9
	移動タンク貯蔵所	３３
取扱所	給油取扱所	３７
	第２種販売取扱所	
	一般取扱所	１１
製造所		1
計		１０３


火　災

解　　説

1　火災の定義

「火災」とは、人の意図に反して発生し若しくは拡大し、又は放火により発生して消火の必要がある燃焼現象であって、これを消火するために消火施設又はこれと同程度の効果のあるものの利用を必要とするもの、又は人の意図に反して発生し若しくは拡大した爆発現象をいう。

＊「爆発現象」は、化学的変化による爆発の一つの形態であり、急速に進行する化学反応によって、多量のガスと熱を発生し、爆鳴・火炎及び破壊作用を伴う現象をいう。

2　火災の種別

火災は、次の種別に区分する。この場合において、火災の種別が２以上複合するときは、焼き損害額の大なるものの種別による。ただし、その態様により焼き損害額の大なるものの種別によることが社会通念上適当でないと認められるときはこの限りでない。

（１）建物火災

ア　「建物火災」とは、建物又はその収容物が焼損した火災をいう。

イ　「建物」とは、土地に定着する工作物のうち屋根及び柱若しくは壁を有するもの、観覧のための工作物又は地下若しくは高架の工作物に設けた事務所、店舗、興業場、倉庫その他これらに類する施設をいい、貯蔵槽その他これに類する施設を除く。

ウ　「収容物」とは、原則として柱、壁等の区画の中心線で囲まれた部分に収容されている物をいう。

（２）林野火災

ア　「林野火災」とは、森林、原野又は牧野が焼損した火災をいう。

イ　「森林」とは木竹が集団して生育している土地及びその土地の上にある立木竹と、これらの土地以外で木竹の集団的な生育に供される土地をいい、主として農地又は住宅地若しくはこれに準ずる土地として使用される土地及びこれらの上にある立木竹を除く。

ウ　「原野」とは、雑草、灌木類が自然に生育している土地で人が利用しないものをいう。

エ　「牧野」とは、主として家畜の放牧又は家畜の飼料若しくは敷料の採取の目的に供される土地（耕地の目的に供される土地を除く。）をいう。

（３）車両火災

「車両火災」とは、次に区分する自動車車両、鉄道車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。

ア　「自動車車両」とは、イの鉄道車両以外の車両で、原動機によって運行することができる車両をいう。

イ　「鉄道車両」とは、鉄道事業法（昭和６１年法律第９２号）における旅客、貨物の運送を行うための車両又はこれに類する車両をいう。

（４）船舶火災

ア　「船舶火災」とは、船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。

イ　「船舶」とは、独行機能を有する帆船、汽船及び端船並びに独行機能を有しない住居船、倉庫船、はしけ等をいう。

（５）航空機火災

ア　「航空機火災」とは、航空機又はその積載物が焼損した火災をいう。

イ　「航空機」とは、人が乗って航空の用に供することができる飛行機、回転翼航空機、滑空機、飛行船等の機器をいう。

（６）その他の火災

「その他の火災」とは、（１）から（５）までに掲げる火災以外の火災（空地、田畑、道路、河川敷、ごみ集積場、屋外物品集積場、軌道敷、電柱類等の火災）をいう。

３　焼損棟数

（１）焼損棟数の算定方法

ア　「焼損棟数」とは、焼損した建物の棟数をいう。

イ　「棟」とは、１つの独立した建物をいう。ただし、渡り廊下の類で２以上の棟に接続しているものは、その部分を折半してそれぞれの棟と同一の棟とする。

（２）焼損程度

焼損の程度は、次のとおり区分する。

ア　全焼

建物の７０パーセント以上を焼損したもの、又は、これ未満であっても残存部分に補修を加えて再使用できないものをいう。

イ　半焼

建物の２０パーセント以上７０パーセント未満を焼損したものをいう。

ウ　部分焼

全焼、半焼及びぼやに該当しないものをいう。

エ　ぼや

建物の１０パーセント未満を焼損したもので、かつ、焼損床面積及び焼損表面積が１平方メートル未満のもの、又は、収容物のみを焼損したものをいう。

４　り災世帯数

（１）り災世帯数の算定方法

ア　一般世帯又は施設等の世帯については、国勢調査の例に準じてり災世帯数を算出する。

イ　共同住宅の共用部分のみり災した場合には、り災世帯数を計上しない。

５　損害額

（１）火災損害の意義

ア　「火災損害」とは、火災によって受けた直接的な損害をいい、消火のために要した経費、焼跡整理費、り災のための休業による損害等の間接的な損害を除く。

イ　火災損害は、焼き損害、消火損害又は爆発損害に区分する。

（ア）　「焼き損害」とは、火災によって焼けた物及び熱によって破損した物等の損害をいう。

（イ）　「消火損害」とは、火災の消火行為に付随して発生する水損、破損、汚損等のものの損害をいう。

（ウ）　「爆発損害」とは爆発現象により受けた破損等の損害で、前記(ア)(イ)以外の損害をいう。

6　死者及び負傷者

（１）死者及び負傷者の範囲

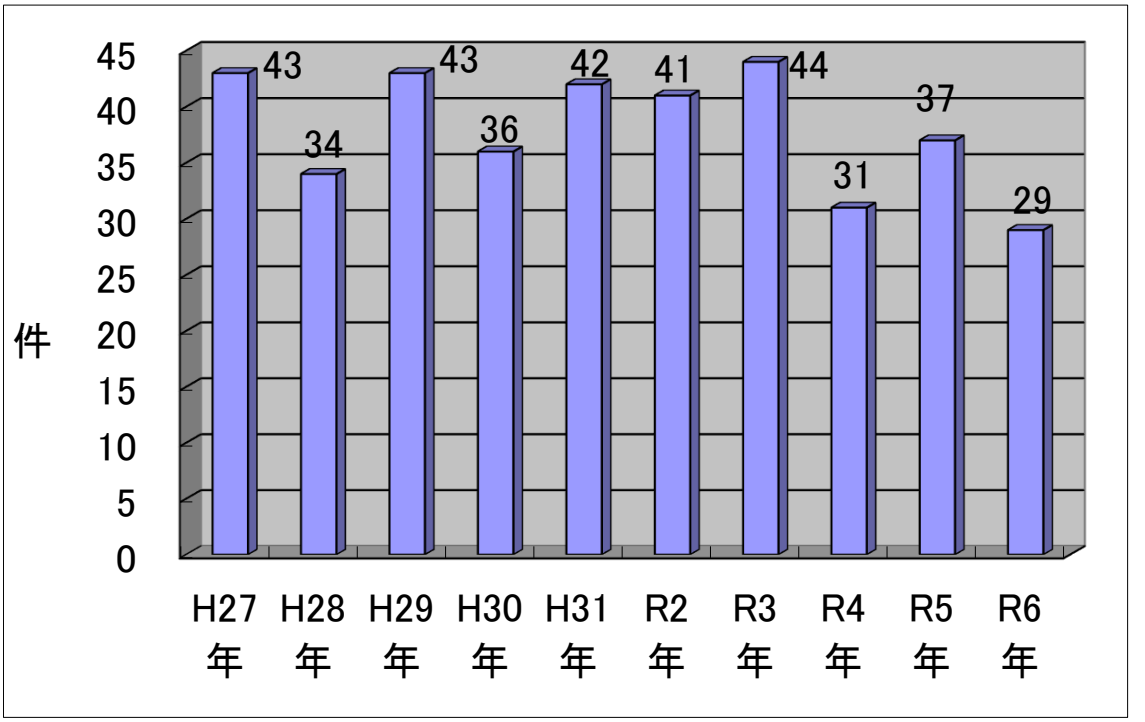
ア　「死者」又は「負傷者」とは、火災現場において火災に直接起因して、死亡した者（病死者を除く。）又は負傷した者をいう。この場合、消防吏員及び消防団員については、火災を覚知した時より現場を引き揚げる時までの間に死亡した者又は負傷した者をそれぞれ死者又は負傷者とする。

イ　火災により負傷した後３０日以内に死亡した者は、火災による死者とする。

1 火災の概況(5年間)

区分＼年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
総出火件数(件)	41	44	31	37	29
建物火災	23	28	18	19	20
車両火災	9	9	5	10	3
船舶火災					
その他の火災	9	7	8	8	6
焼損棟数(棟)	23	52	18	25	23
り災世帯数(世帯)	17	32	6	24	22
り災人員(人)	31	61	15	62	51
建物焼損床面積(㎡)	670	1,301	1,140	530	783
建物焼損表面積(㎡)	71	227	9	72	80
損害額(千円)	81,950	159,960	81,959	158,108	125,461
死傷者数(人)					
死者	3	3	2	2	1
負傷者	4	7	1	4	6

2 火災発生件数の推移(10年間)

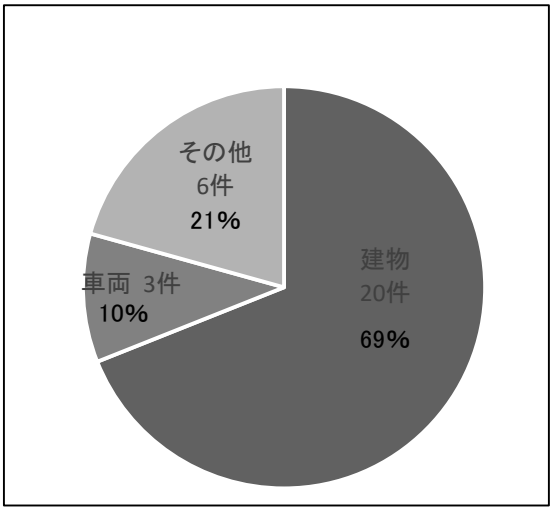


3 令和6年三郷市火災概況

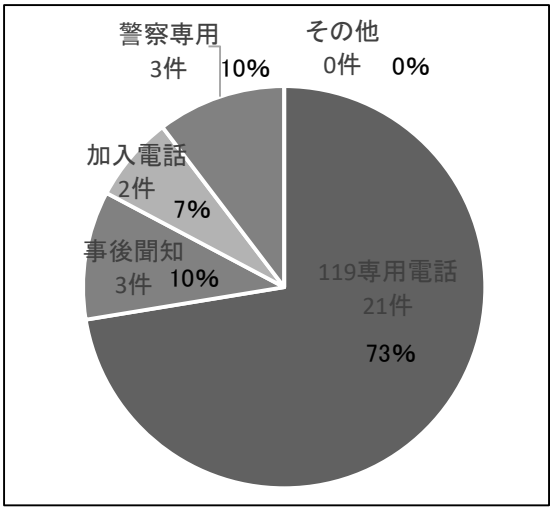
(1) 月別火災概況

月別区分			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災発生件数	建物	全焼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		半焼	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		部分焼	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	4
		ぼや	2	0	3	1	0	1	1	0	2	2	0	2	14
	車両		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3
	船舶		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他		1	0	1	0	0	2	0	0	0	2	0	0	6
	小計		6	1	4	1	0	3	1	1	3	4	1	4	29
焼損棟数	全焼		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	半焼		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	部分焼		1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	4
	ぼや		4	1	3	1	0	1	1	0	2	2	0	2	17
	小計		7	1	3	1	0	1	1	1	3	2	0	3	23
り災世帯			5	1	2	0	0	1	0	0	10	0	0	3	22
り災人員			16	2	3	0	0	1	0	0	22	0	0	7	51
死傷者	死者		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	負傷者		3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	6
焼損面積等	焼損床面積		726	0	0	0	0	0	0	0	54	0	0	3	783
	焼損表面積		18	1	0	0	0	0	0	2	52	0	0	7	80
	車両台数		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4
損害額(千円)			105,009	1,014	61	43	0	2	27	55	17,634	29	100	1,487	125,461

(2) 火災種別発生件数



(3) 覚知方法別件数



(4) 管内別火災発生件数 令和6年

種別 / 区分	建物	車両	その他	計
本 署	8	1	1	10
南分署	4	1	3	8
北分署	8	1	2	11
計	20	3	6	29

(5) 地名別火災発生件数

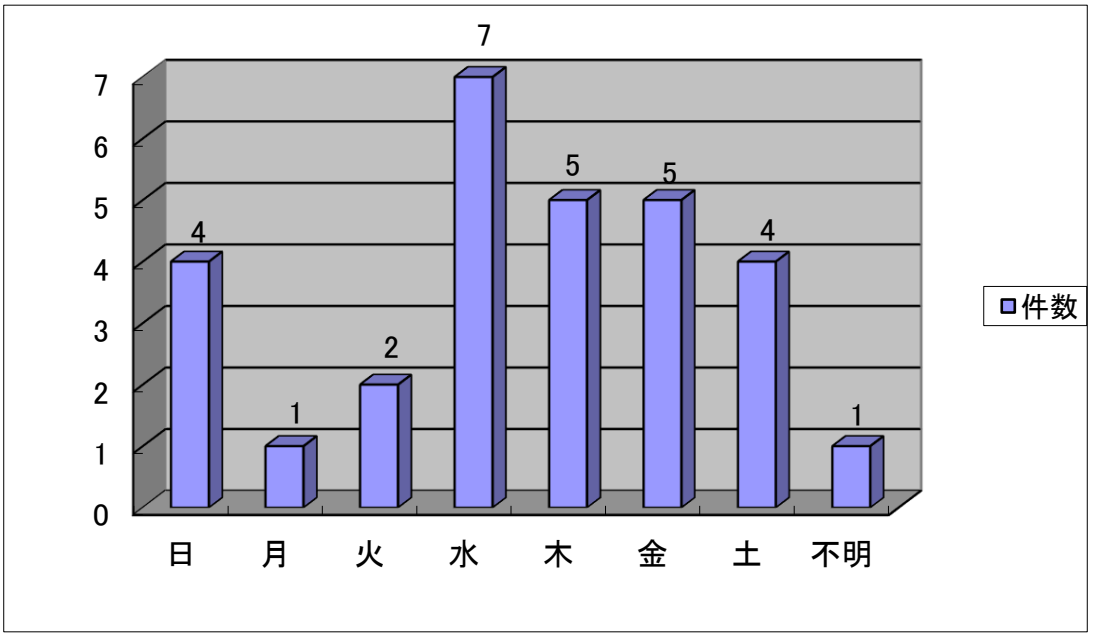
令和6年

種別 / 地名	建物	車両	その他	計
東 町	0	0	0	0
市 助	1	0	0	1
泉	1	0	0	1
岩野木	0	0	0	0
インター南	2	0	0	2
後 谷	0	0	0	0
采 女	0	0	0	0
采女新田	0	0	0	0
大広戸	0	0	0	0
鎌 倉	0	0	0	0
上 口	0	1	0	1
上彦川戸	0	0	0	0
上彦名	0	0	0	0
幸 房	0	0	1	1
駒 形	0	0	0	0
小谷堀	0	1	0	1
栄	0	0	0	0
笹 塚	0	0	0	0
さつき平	0	0	0	0
下彦川戸	0	0	0	0
新三郷ららシティ	3	0	0	3
新 和	1	0	0	1
前 間	0	0	0	0
高 州	1	1	0	2
鷹 野	1	0	1	2
田中新田	0	0	0	0
丹 後	0	0	0	0
中 央	1	0	0	1
天 神	0	0	0	0
戸ヶ崎	2	0	2	4
仁 蔵	0	0	0	0
花和田	0	0	0	0
番匠免	2	0	0	2
半 田	0	0	0	0
ピアラシティ	0	0	0	0
彦 糸	0	0	0	0
彦 江	0	0	0	0
彦 音	0	0	0	0
彦川戸	0	0	1	1
彦 倉	0	0	0	0
彦 沢	0	0	0	0
彦 成	3	0	0	3
彦 野	0	0	0	0
三 郷	0	0	0	0
南蓮沼	0	0	1	1
茂田井	0	0	0	0
谷 口	1	0	0	1
谷 中	0	0	0	0
寄 巻	0	0	0	0
早稲田	1	0	0	1
合 計	20	3	6	29

（6） 出火原因別件数

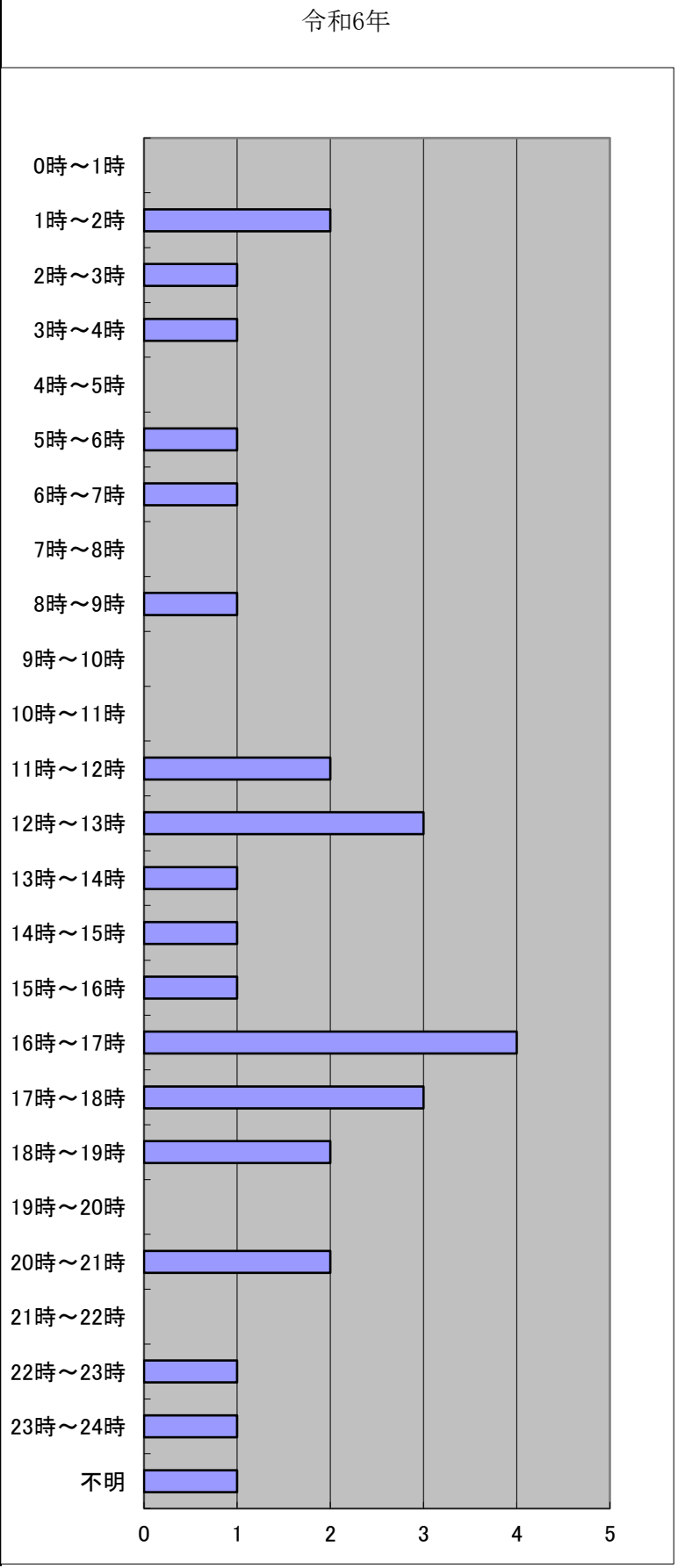
	たばこ	火あそび	たき火	コンロ	ストーブ	こたつ	電灯・電話等の配線	電気機器	電気装置	排気管	焼却炉	マッチ・ライター	放火（疑い含む）	その他	不明・調査中	計
令和2年	6	1	0	3	0	0	1	1	4	4	1	1	8	6	5	41
令和3年	3	1	0	3	0	0	2	3	0	3	0	1	5	10	13	44
令和4年	2	0	2	1	1	0	4	4	1	0	0	1	1	6	8	31
令和5年	6	0	0	4	0	0	0	1	1	5	0	0	3	13	4	37
令和6年	6	0	1	1	1	0	0	4	2	0	0	1	1	10	2	29

（7） 曜日別火災発生件数　　令和6年

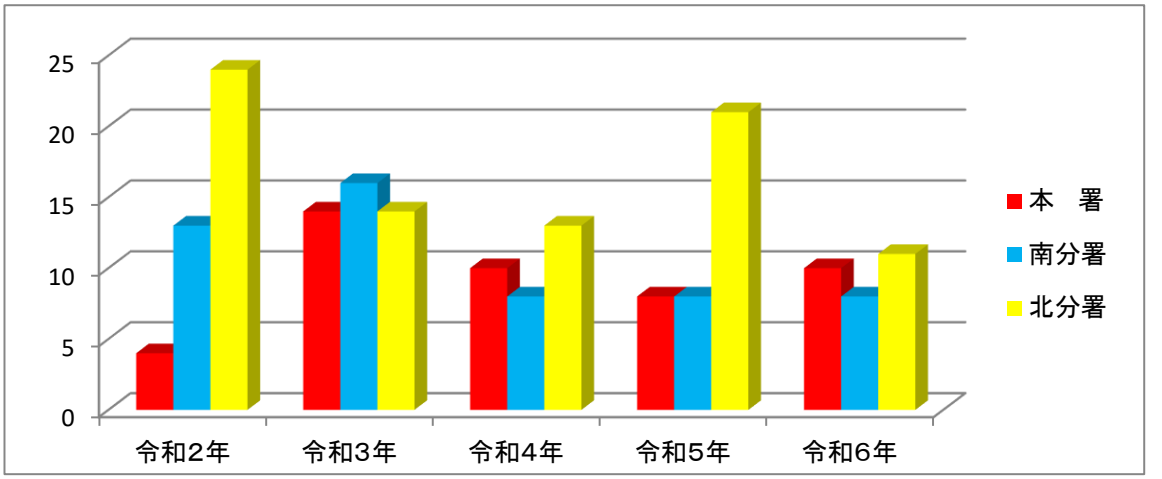


（8） 時間帯別火災発生件数

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
0時～1時	1	2	0	0	0
1時～2時	1	1	0	0	2
2時～3時	1	1	0	0	1
3時～4時	2	1	1	0	1
4時～5時	1	0	0	2	0
5時～6時	4	1	0	0	1
6時～7時	1	1	1	0	1
7時～8時	1	0	2	2	0
8時～9時	1	3	2	0	1
9時～10時	1	1	1	2	0
10時～11時	4	3	3	3	0
11時～12時	1	3	3	3	2
12時～13時	2	3	2	4	3
13時～14時	3	0	0	1	1
14時～15時	2	3	5	2	1
15時～16時	2	2	3	1	1
16時～17時	1	4	0	1	4
17時～18時	2	1	0	2	3
18時～19時	2	2	5	3	2
19時～20時	0	2	0	2	0
20時～21時	3	1	1	4	2
21時～22時	2	4	1	3	0
22時～23時	1	2	0	0	1
23時～24時	2	1	0	1	1
不明	0	2	1	1	1
計	41	44	31	37	29

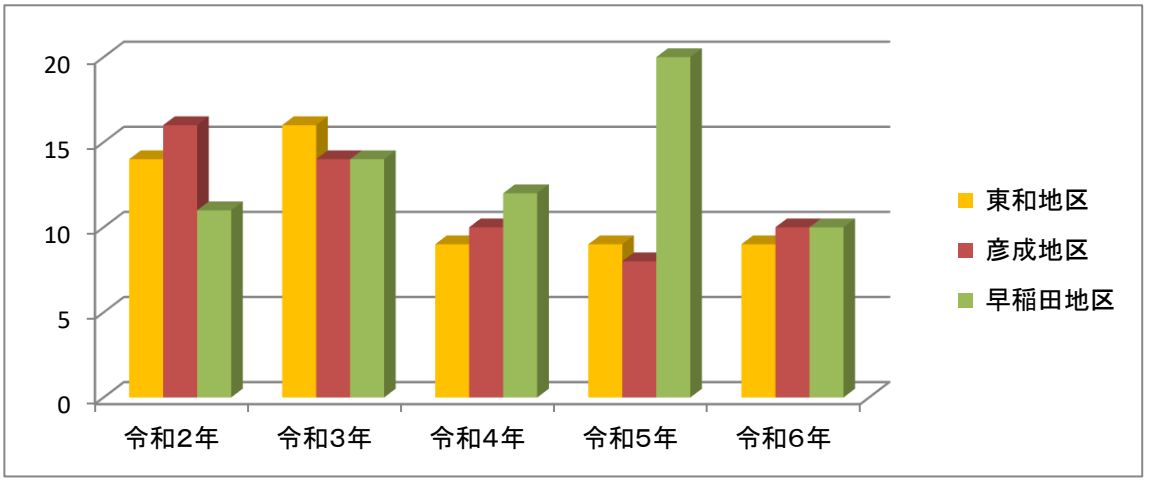


（9） 管内別火災発生件数の推移



	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
本　署	4	14	10	8	10
南分署	13	16	8	8	8
北分署	24	14	13	21	11
計	41	44	31	37	29

（10） 地区別火災発生件数の推移



	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
東和地区	14	16	9	9	9
彦成地区	16	14	10	8	10
早稲田地区	11	14	12	20	10
計	41	44	31	37	29

4 令和6年の火災概況（全国）

区分	令和6年 (A)		令和5年 (B)		対前年増減数 (A)－(B)＝(C)
総出火件数(件)	37,036		38,672		▲ 1,636
建 物 火 災	20,908		20,974		▲ 66
林 野 火 災	833		1,299		▲ 466
車 両 火 災	3,538		3,521		17
船 舶 火 災	62		58		4
航 空 機 火 災	3		1		2
そ の 他 の 火 災	11,692		12,819		▲ 1,127
焼損棟数(棟)	29,927		29,656		271
り災世帯数（世帯）	18,364		18,882		▲ 518
建物焼損床面積(㎡)	969,767		1,022,440		▲ 52,673
建物焼損表面積(㎡)	107,746		124,871		▲ 17,125
林野焼損面積 (a)	106,785		84,379		22,406
損 害 額 (万円)	9,289,540		9,420,847		▲ 131,307
死 者 (人)	1,436		1,503		▲ 67
負 傷 者 (人)	5,742		5,766		▲ 24
出火原因別	件数	構成比	件数	構成比	対前年増減数
放火	2,355	6.4%	2,495	6.5%	▲ 140
たばこ	3,038	8.2%	3,498	9.0%	▲ 460
こんろ	2,702	7.3%	2,838	7.3%	▲ 136
放火の疑い	1,507	4.1%	1,616	4.2%	▲ 109
たき火	2,770	7.5%	3,473	9.0%	▲ 703
火入れ	1,790	4.8%	2,175	5.6%	▲ 385

一日あたり

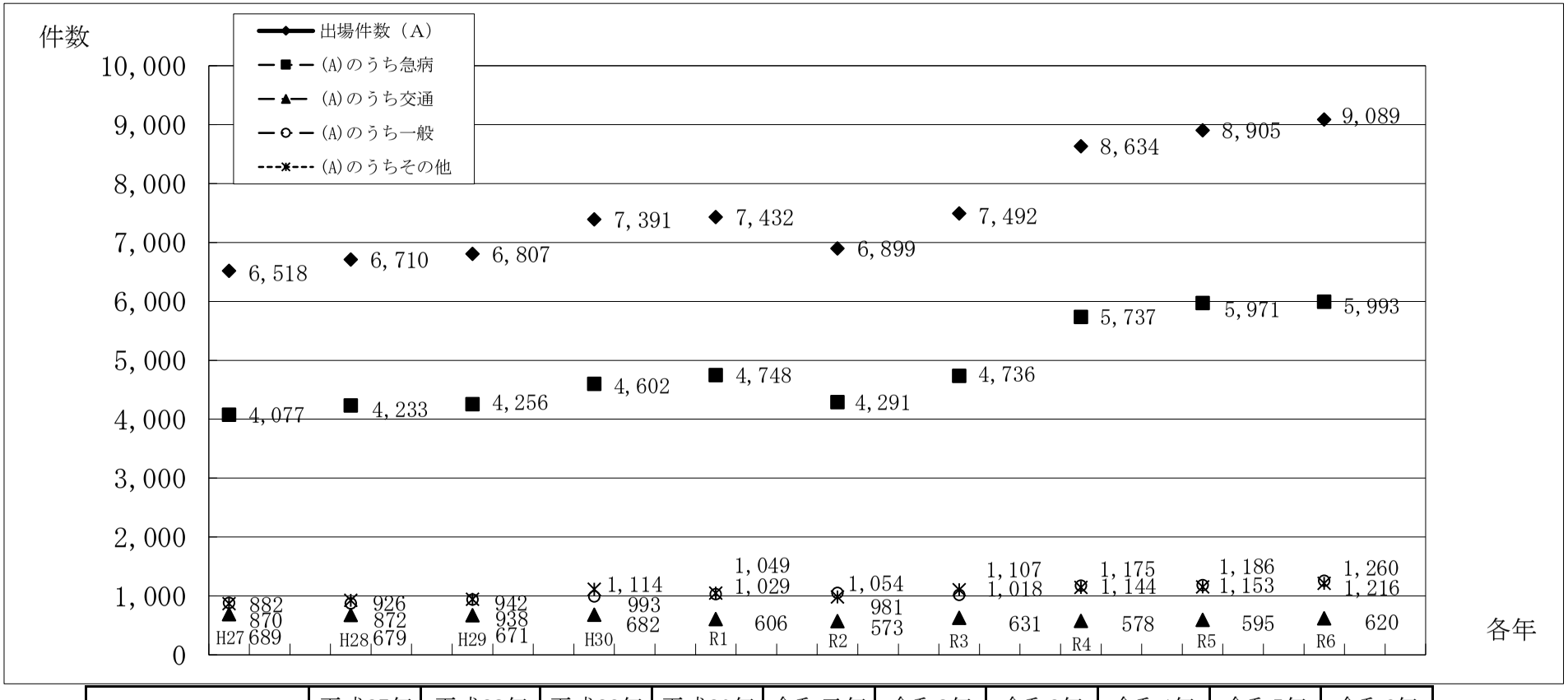
区分	令和6年	令和5年
出 火 件 数 (件)	101	106
焼 損 棟 数 (棟)	82	81
り災世帯数 (世帯)	50	52
建物焼損床面積(㎡)	2,650	2,801
建物焼損表面積(㎡)	294	342
林野焼損面積 (a)	292	231
損 害 額 (百万円)	254	258
死 者 (人)	3.9	4.1
負 傷 者 (人)	15.7	15.8

※ 令和6年の数値は概数です。令和5年の数値は確定値です。（総務省消防防災情報室データより）

救急・救助

1　救　急

(1)　救急出場件数の推移



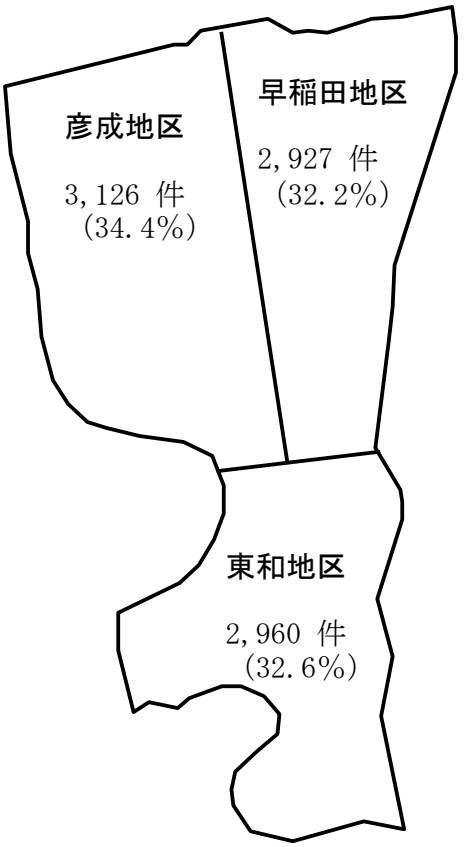
	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
出場件数（A）	6,518	6,710	6,807	7,391	7,432	6,899	7,492	8,634	8,905	9,089
(A)のうち急病	4,077	4,233	4,256	4,602	4,748	4,291	4,736	5,737	5,971	5,993
(A)のうち交通	689	679	671	682	606	573	631	578	595	620
(A)のうち一般	882	872	938	993	1,029	1,054	1,018	1,175	1,186	1,260
(A)のうちその他	870	926	942	1,114	1,049	981	1,107	1,144	1,153	1,216
搬　送　人　員	5,707	5,657	5,693	6,052	6,022	5,492	5,858	6,427	6,672	6,894

(2)　救急出場状況

令和6年

区分 / 曜日・月別	事故種別														
	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
											転院搬送	医師搬送	機材等搬送	その他	
月	6			82	15	8	193	3	13	931	116			34	1,401
火	6			93	14	3	190	4	10	885	119			36	1,360
水	6		2	93	12	5	157	4	15	821	120			25	1,260
木	5			93	14	2	171	6	11	858	106			16	1,282
金	6			109	15	3	188	2	16	771	100			34	1,244
土	2			91	10	17	192	4	5	830	83			35	1,269
日	4		1	59	9	28	169	8	9	897	46			43	1,273
計	35		3	620	89	66	1,260	31	79	5,993	690			223	9,089
１月	5			34	5	2	106	2	4	568	70			17	813
２月	1			44	2	2	84	2	7	516	44			10	712
３月	4			56	13	5	115	3	6	490	65			27	784
４月			1	41	6	6	101	3	4	434	48			15	659
５月	2			43	3	7	100	6	12	464	58			19	714
６月	3			52	9	5	97	3	8	475	54			18	724
７月	2			55	8	10	100	2	6	595	63			22	863
８月	7		1	48	10	8	101	3	4	517	58			15	772
９月	3			54	10	6	113	1	6	461	49			22	725
１０月	3			62	11	1	118	2	7	439	59			14	716
１１月	1		1	59	7	8	102	1	8	468	71			14	740
１２月	4			72	5	6	123	3	7	566	51			30	867

(3) 地区別救急出場状況



令和6年

事故種別 / 地区別	交通	一般負傷	急病	その他	計
彦成地区	179	404	2,072	471	3,126
うち みさと団地	12	129	812	69	1,022
うち さつき平	5	43	184	6	238
早稲田地区	195	426	1,988	318	2,927
うち 早稲田団地	1	26	162	7	196
東和地区	184	430	1,922	424	2,960
常磐自動車道	13	0	4	0	17
東京外環自動車道	41	0	3	1	45
首都高速道路	5	0	0	0	5
市外	3	0	4	2	9
計	620	1,260	5,993	1,216	9,089

左図のほか

常磐自動車道	17 件	(0.2%)
東京外環自動車道	45 件	(0.5%)
首都高速道路	5 件	(0.1%)
市外	9 件	(0.1%)

(4) 署別救急出場状況

令和6年

事故種別 / 署別	交通	一般負傷	急病	その他	計	搬送人員
本署	251	490	2,206	456	3,403	2,654
南分署	136	287	1,222	277	1,922	1,406
北分署	233	483	2,565	483	3,764	2,834
計	620	1,260	5,993	1,216	9,089	6,894

(5) 時間別救急出場件数

令和６年

時間帯＼事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
０時 ～ ２時	1			14		1	40	2	6	309	25	398
２時 ～ ４時	4			9	2		46	1	3	249	25	339
４時 ～ ６時	1			20	3		34	2	5	270	29	364
６時 ～ ８時	4			50	6	1	89	1	5	443	25	624
８時 ～ １０時	3		1	82	17	3	161	2	4	678	79	1,030
１０時 ～ １２時	1		2	80	11	15	153		6	742	144	1,154
１２時 ～ １４時	4			67	15	19	146	2	4	640	174	1,071
１４時 ～ １６時	4			68	16	16	141	1	8	602	112	968
１６時 ～ １８時	6			83	8	4	137	2	9	580	112	941
１８時 ～ ２０時	4			86	7	2	124	4	8	577	81	893
２０時 ～ ２２時	2			36	4	2	116	7	9	495	56	727
２２時 ～ ２４時	1			25		3	73	7	12	408	51	580
計	35		3	620	89	66	1,260	31	79	5,993	913	9,089

(6) 事故種別年齢区分別搬送人員

令和６年

年齢区分＼事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
新生児										2	27	29
乳幼児				3			55			176	14	248
少年				58		27	32	2	4	84	6	213
成人	2			295	64	31	151	8	29	1,238	190	2,008
高齢者	2		1	113	18	1	772	6	11	3,023	449	4,396
計	4		1	469	82	59	1,010	16	44	4,523	686	6,894

(7) 事故種別傷病程度別搬送人員

令和６年

傷病程度＼事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
死亡				2			4		2	101		109
重症				24	10		66		11	332	141	584
中等症	1		1	84	24	15	315	2	19	2,239	486	3,186
軽症	3			358	48	44	621	14	12	1,849	59	3,008
その他				1			4			2		7
計	4		1	469	82	59	1,010	16	44	4,523	686	6,894

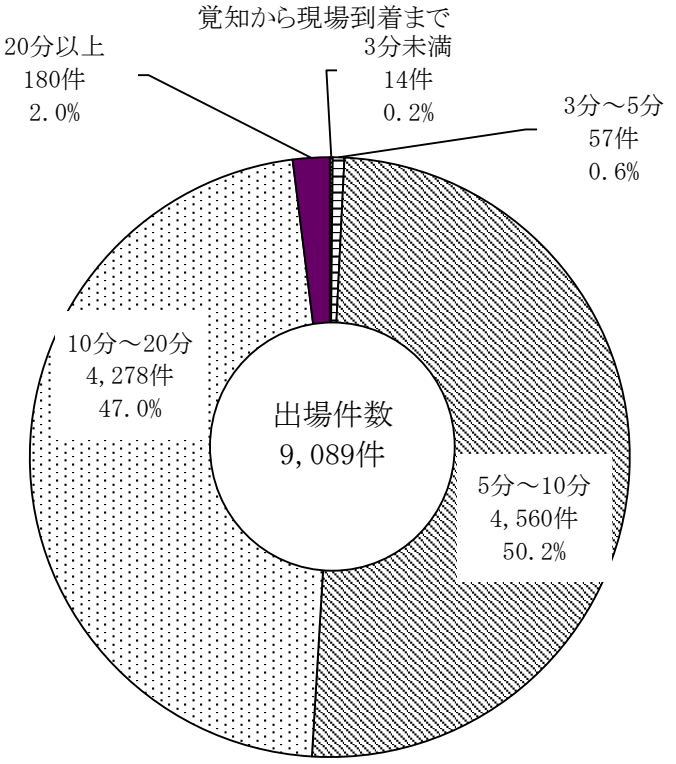
(8) 事故種別不搬送理由別不搬送件数

令和６年

事故種別 / 不搬送理由	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
辞退（到着前）				2	1		9	1	1	27	6	47
辞退（到着後）	4			149	6	7	211	9	22	1,210	50	1,668
拒否				11			28	3		54	9	105
明らかな死亡									11	150	6	167
他車（隊）搬送										1		1
傷病者なし	18			5			1	1	1	4	23	53
誤報・いたずら	9			1							97	107
その他	1		2	3			3	1		25	36	71
計	32		2	171	7	7	252	15	35	1,471	227	2,219

救急車の適正利用をお願いいたします。

(9) 現場到着所要時間別出場件数



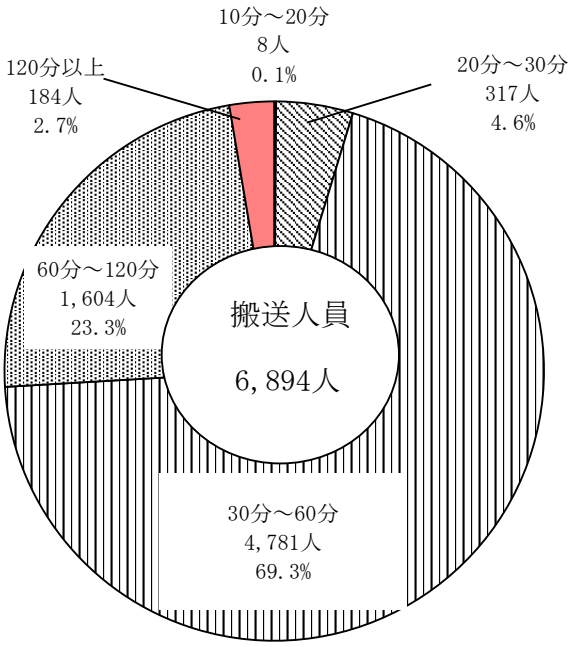
現　場　到　着
☆
最短所要時間　0分

現　場　到　着
☆
最長所要時間　96 分

現　場　到　着
☆
平均所要時間　10.2 分

(10)　収容所要時間別搬送人員

覚知から傷病者を医療機関等に収容まで



収容所要時間
☆
最短収容時間　12 分

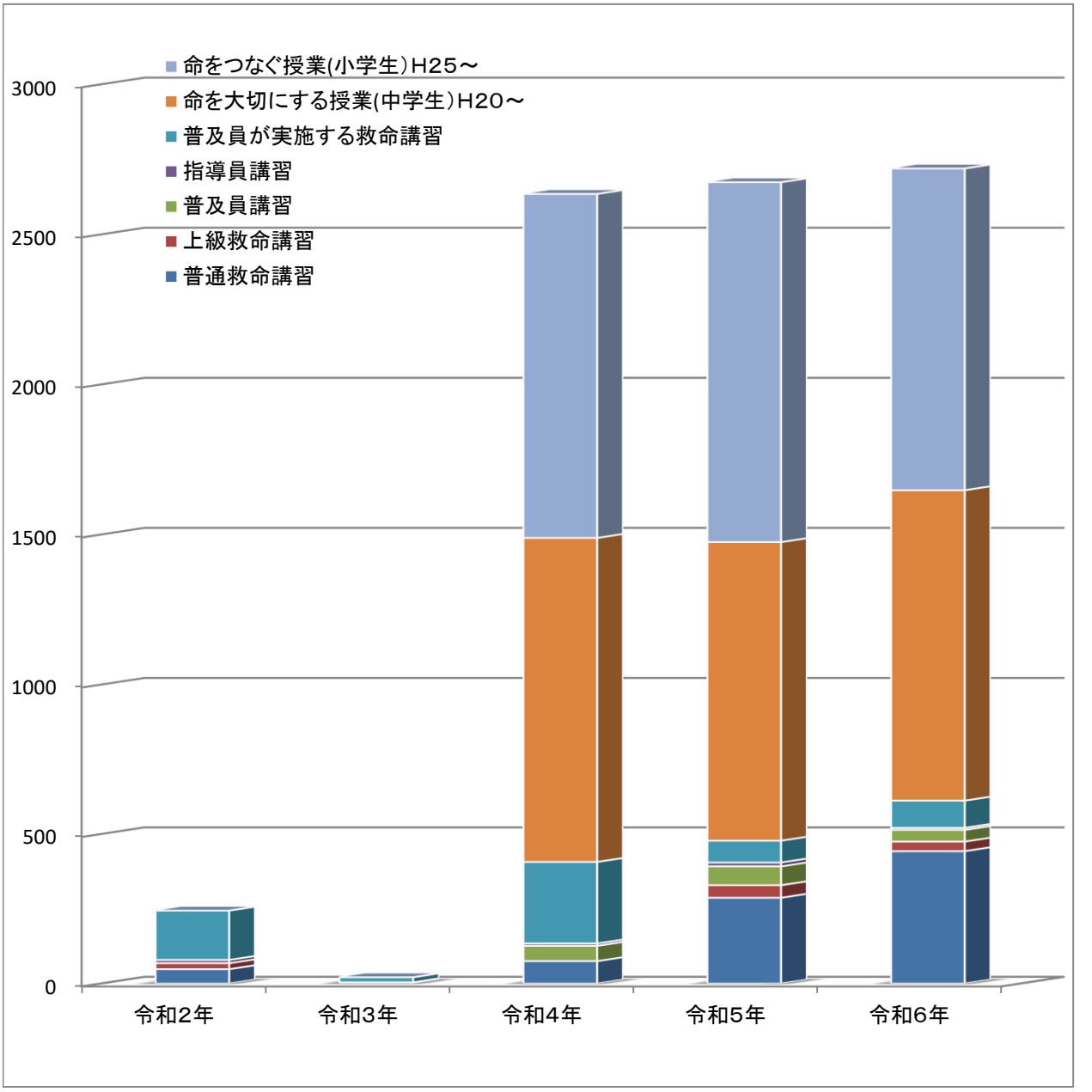
収容所要時間
☆
最長収容時間　407 分

収容所要時間
☆
平均収容時間　53.9 分

(11) 応急手当講習受講者状況

応 急 手 当 講 習 受 講 者 状 況

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
普通救命講習 (入門・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)	48	0	75	287	443
上級救命講習	20	0	0	42	32
普及員講習	0	0	51	63	39
指導員講習	11	4	8	13	7
普及員が実施する救命講習	165	17	273	73	91
命を大切にする授業(中学生)H20～	0	0	1,082	997	1,036
命をつなぐ授業(小学生)H25～	0	0	1,146	1,199	1,072
受講者総数	244	21	2,635	2,674	2,720



2　救　助

(1)　救助出動状況　　令和６年中

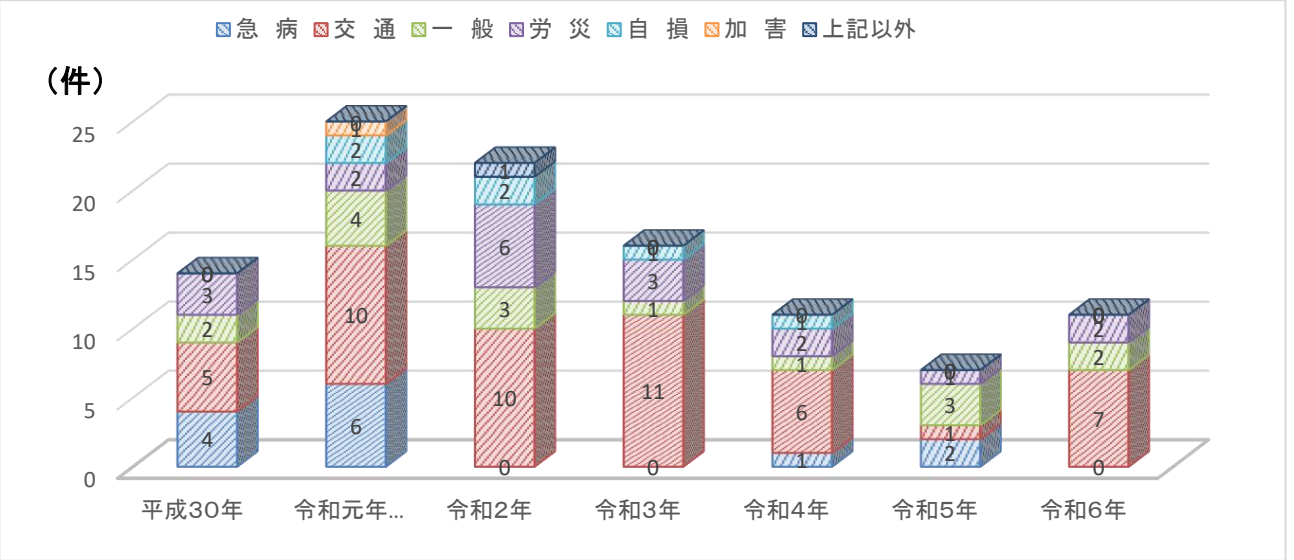
区分＼事故種別		火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
出動件数		3[0]	26	3	0	3	52	0	0	11	98
活動件数		3[0]	9	2	0	2	49	0	0	6	71
救助人員		1[0]	12	2	0	2	40	0	0	5	62
出動人員	救助隊員	13[0]	119	15	0	14	32	0	0	38	231
	消防隊員	59[0]	206	30	0	24	179	0	0	68	566
	救急隊員	12[0]	96	12	0	9	153	0	0	30	312
	計	84[0]	421	57	0	47	364	0	0	136	1,109
出動車両	救助工作車	3[0]	26	3	0	3	7	0	0	8	50
	消防ポンプ車	16[0]	46	6	0	5	53	0	0	14	140
	救急自動車	4[0]	32	4	0	3	51	0	0	10	104
	その他	5[0]	26	7	0	3	9	0	0	12	62
	計	28[0]	130	20	0	14	120	0	0	44	356

[　]建物以外

（２） ドクターヘリ要請件数

ドクターヘリ要請件数（過去７年間）

事故種別	平成３０年	令和元年 (平成３１年)	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年
急　病	4	6	0	0	1	2	0
交　通	5	10	10	11	6	1	7
一　般	2	4	3	1	1	3	2
労　災	3	2	6	3	2	1	2
自　損	0	2	2	1	1	0	0
加　害	0	1	0	0	0	0	0
上記以外	0	0	1	0	0	0	0
合　計	14	25	22	16	11	7	11



（３） 救急支援出場件数

救急支援出場件数　（過去７年間）

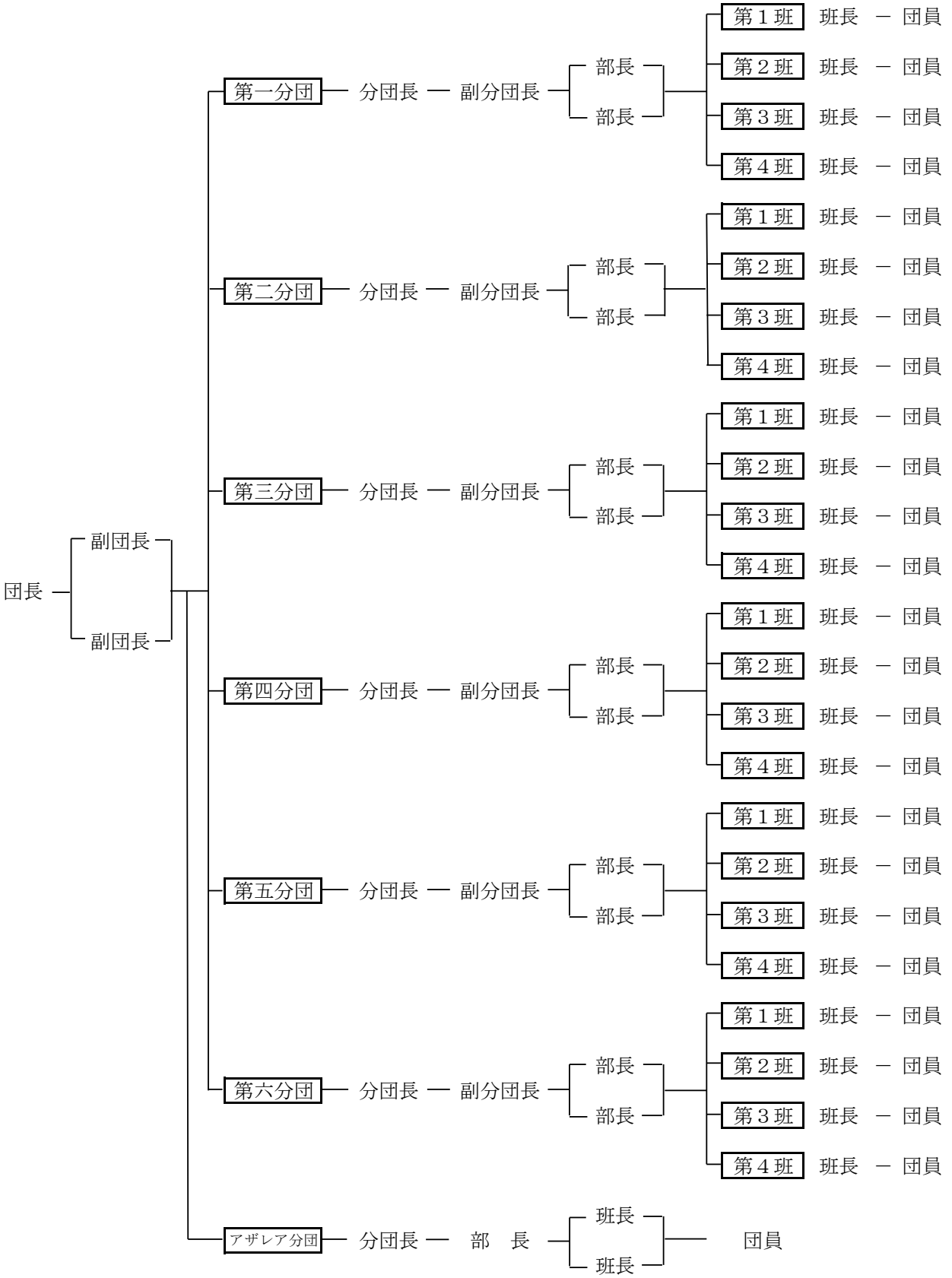
※管内別

事故種別	平成30年	令和元年 (平成31年中)	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年
合　計	1,353	1,377	1,262	1,202	1,182	1,303	1,284
本　署	280	287	320	285	260	311	309
南分署	435	454	362	367	352	392	389
北分署	638	636	580	550	570	600	586

注：救急支援出場・・・救急支援出場とは、消防車と救急車が同時に救急現場へ出動すること又は救急隊全隊が出動した際、消防車が先行して出動することです。
救急車内への収容補助・応急処置・交通事故現場での救急活動スペース確保など救命率向上・被害の軽減を目的としています。

消防団

1　消防団組織図


団長
副団長
副団長
第一分団
分団長
副分団長
部長
部長
第１班 班長 － 団員
第２班 班長 － 団員
第３班 班長 － 団員
第４班 班長 － 団員
第二分団
分団長
副分団長
部長
部長
第１班 班長 － 団員
第２班 班長 － 団員
第３班 班長 － 団員
第４班 班長 － 団員
第三分団
分団長
副分団長
部長
部長
第１班 班長 － 団員
第２班 班長 － 団員
第３班 班長 － 団員
第４班 班長 － 団員
第四分団
分団長
副分団長
部長
部長
第１班 班長 － 団員
第２班 班長 － 団員
第３班 班長 － 団員
第４班 班長 － 団員
第五分団
分団長
副分団長
部長
部長
第１班 班長 － 団員
第２班 班長 － 団員
第３班 班長 － 団員
第４班 班長 － 団員
第六分団
分団長
副分団長
部長
部長
第１班 班長 － 団員
第２班 班長 － 団員
第３班 班長 － 団員
第４班 班長 － 団員
アザレア分団
分団長
部　長
班長
班長
団員

2　団　　員

（１）分団別階級別の消防団員数

令和7年4月1日現在

分団及び班等		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
団　本　部		1	2						3
アザレア分団				(1)		(1)	(2)	(8)	(12)
第一分団	第1班					1	1	11	46
	第2班					1	1	9	
	第3班			1			1	9	
	第4班				1		1	9	
第二分団	第1班			1			1	11	44
	第2班				1		1	10	
	第3班					1	1	7	
	第4班					1	1	8	
第三分団	第1班			1			1	8	38
	第2班					1	1	9	
	第3班					1	1	7	
	第4班				1		1	6	
第四分団	第1班					1	1	6	40
	第2班			1			1	9	
	第3班					1	1	8	
	第4班				1		1	9	
第五分団	第1班				1		1	12	56
	第2班					1	1	11	
	第3班					1	1	12	
	第4班			1			1	13	
第六分団	第1班			1			1	10	50
	第2班				1		1	12	
	第3班					1	1	13	
	第4班					1	1	7	
合計		1	2	7(1)	6	13(1)	26(2)	234(8)	289(12)

（　）は女性団員

（２）団員１人当たりと市民の割合

各年４月１日現在

区分／年	世　帯	人　口	消防団員数	消防団員１人に対する	
				世　帯	人　口
平成 30 年	62,893	140,702	312	202	451
平成 31 年	64,102	141,765	316	203	449
令和２年	65,195	142,591	311	210	458
令和３年	66,168	142,663	309	214	462
令和４年	66,752	142,758	307	217	465
令和５年	67,220	142,177	298	226	477
令和６年	68,036	141,935	286	238	496
令和７年	68,886	142,041	289	238	491

（３）団員の年齢別

令和７年４月１日現在

区分／年齢	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員	計
２０歳未満							3	3
20 歳～24 歳							14(5)	14(5)
25 歳～29 歳							7	7
30 歳～34 歳						1	3	4
35 歳～39 歳						2	19	21
40 歳～44 歳				1	2	8(1)	38	49(1)
45 歳～49 歳				2	2	6	42(1)	52(1)
50 歳～54 歳			3		4	4	60(1)	71(1)
55 歳～59 歳				1	5(1)	3(1)	27(1)	36(3)
６０歳以上	1	2	4(1)	2		2	21	32(1)
合　　計	1	2	7(1)	6	13(1)	26(2)	234(8)	289(12)
平　　均	67.0	65.5	59.0	52.3	51.9	47.3	46.5	47.4

（　　）は女性団員

（４）団員の勤続年数

令和７年４月１日現在

年数／階級	５年未満	５年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上25年未満	25年以上30年未満	30年以上	計
団長						1		1
副団長						1	1	2
分団長			1		4(1)	1	1	7(1)
副分団長			1	1	1	2	1	6
部長		2	4	2(1)	5			13(1)
班長	1	5	6(1)	8(1)	4		2	26(2)
団員	53(6)	52	29	34(1)	29(1)	23	14	234(8)
合計	54(6)	59	41(1)	45(3)	43(2)	28	19	289(12)

（　　）は女性団員

（５）団員の退職報償金の額

令和７年４月１日現在（単位：円）

勤務年数／階級	５年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上25年未満	25年以上30年未満	30年以上35年未満	35年以上
団長	239,000	344,000	459,000	594,000	779,000	979,000	1,079,000
副団長	229,000	329,000	429,000	534,000	709,000	909,000	1,009,000
分団長	219,000	318,000	413,000	513,000	659,000	849,000	949,000
副分団長	214,000	303,000	388,000	478,000	624,000	809,000	909,000
部長及び班長	204,000	283,000	358,000	438,000	564,000	734,000	834,000
団員	200,000	264,000	334,000	409,000	519,000	689,000	789,000

（６）団員年額報酬及び出務報酬の額

令和７年４月１日現在（単位：円）

区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
報酬額（年額）	182,500	140,000	109,000	88,000	71,000	64,500	56,500
火災・その他の災害の出務（報酬額・日額）	４時間未満の活動　4,000/４時間以上の活動　8,000						
警戒の出務（報酬額・日額）	４時間未満の活動　4,000/４時間以上の活動　8,000						
訓練等の出務（報酬額・日額）	2,400						

3　消防団の装備及び施設

（1）分団・班別の消防車両

令和7年4月1日現在

分団及び班		種別	型式	車両番号	初年度登録	ポンプ級別
第一分団	第1班	各種災害対応機動車	いすゞ TPG−NHS85A	春日部 830 に 101	平成28年 2月	B−2
	第2班	小型全自動消防自動車	いすゞ 2RG-NHS88A	春日部 830 な 102	令和 2年 3月	B−2
	第3班	各種災害対応機動車	いすゞ BKG−NHS85A	春日部 830 せ 103	平成22年11月	B−2
	第4班	各種災害対応機動車	三菱 PDG−FD70B	春日部 830 せ 104	平成20年 3月	B−2
第二分団	第1班	小型動力ポンプ付積載車	三菱 GE−FB500B	春日部 800 さ 7419	平成14年11月	B−2
	第2班	小型動力ポンプ付積載車	三菱 GE−FB500B	春日部 800 さ 7418	平成14年11月	B−2
	第3班	小型全自動消防自動車	日野 TKG−XZC645M	春日部 830 せ 203	平成25年 3月	B−2
	第4班	各種災害対応機動車	いすゞ TPG−NHS85A	春日部 830 せ 204	平成29年 2月	B−2
第三分団	第1班	各種災害対応機動車	三菱 PDG−FD70B	春日部 830 そ 301	平成21年 2月	B−2
	第2班	小型全自動消防自動車	日野 BDG−XZU538M	春日部 830 せ 302	平成22年 2月	B−2
	第3班	小型動力ポンプ付積載車	三菱 GE−FB500B	春日部 800 さ 7420	平成14年11月	B−2
	第4班	小型動力ポンプ付積載車	いすゞ 2RG−NHS88A	春日部 830 そ 304	令和 3年 2月	B−2
第四分団	第1班	救助資機材搭載型車両	ニッサン PDG−SZ5F24	春日部 800 す 5016	平成22年 3月	B−2
	第2班	小型全自動消防自動車	日野 BDG−XZU538M	春日部 830 さ 3119	平成22年 2月	B−2
	第3班	小型動力ポンプ付積載車	三菱 UC−FB700B	春日部 800 さ 9161	平成15年11月	B−2
	第4班	各種災害対応機動車	いすゞ TPG−NHS85A	春日部 830 す 404	平成28年 2月	B−2
第五分団	第1班	各種災害対応機動車	いすゞ TPG−NHS85A	春日部 830 せ 501	平成29年 2月	B−2
	第2班	各種災害対応機動車	いすゞ BKG−NHS85A	春日部 830 す 502	平成22年11月	B−2
	第3班	各種災害対応機動車	いすゞ TPG−NHS85A	春日部 830 す 503	平成28年 2月	B−2
	第4班	小型全自動消防自動車	日野 BDG−XZU538M	春日部 830 さ 504	平成20年 3月	B−2
第六分団	第1班	小型全自動消防自動車	日野 BDG−XZU538M	春日部 830 さ 601	平成20年 3月	B−2
	第2班	小型動力ポンプ付積載車	いすゞ 2RG−NHS88A	春日部 830 す 602	令和 3年 2月	B−2
	第3班	小型動力ポンプ付積載車	三菱 GE−FB500B	春日部 800 さ 7421	平成14年11月	B−2
	第4班	各種災害対応機動車	いすゞ BKG−NHS85A	春日部 830 さ 604	平成22年11月	B−2

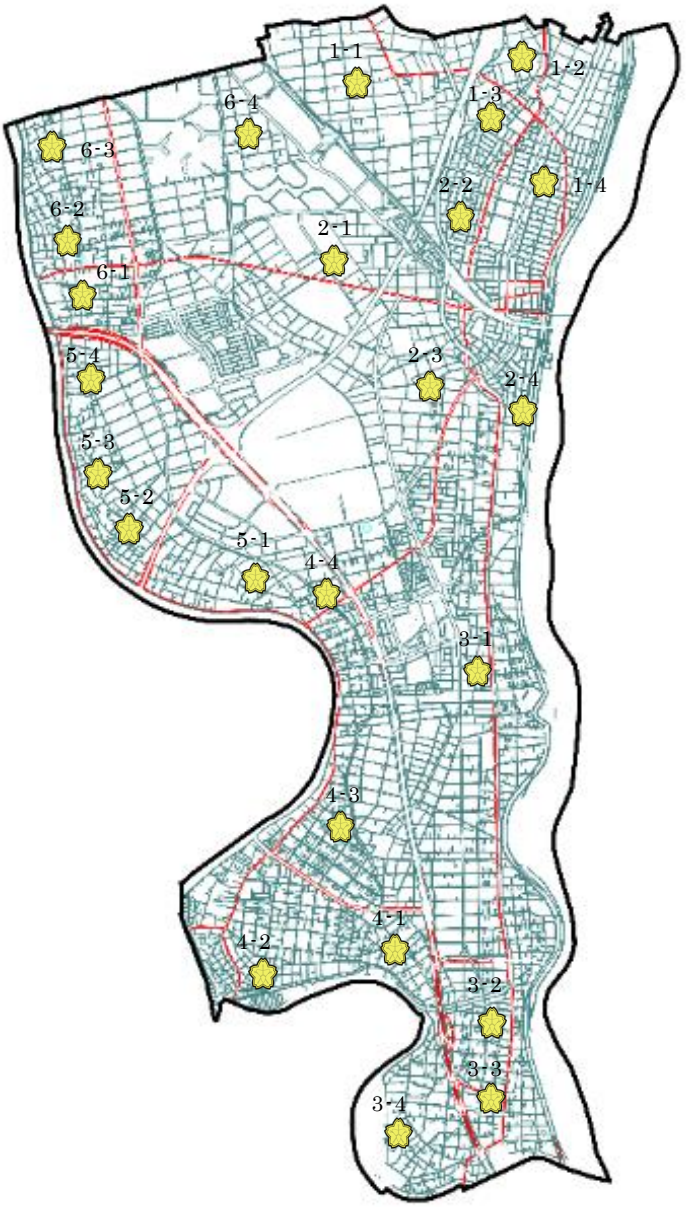
（２）分団・班別機械器具置場の概要

令和７年４月１日現在

分団及び班		所　在　地	建物		
			構造	面積(㎡)	建築年月
第一分団	第１班	半　田　２９８－２	鉄骨造２階建	55.80	平成17年３月
	第２班	後　谷　２９２－１	木造２階建	68.30	平成23年４月
	第３班	早稲田　８－１７－１０	木造２階建	71.45	平成27年３月
	第４班	早稲田　３－２８－１１	鉄骨造２階建	61.20	平成19年３月
第二分団	第１班	南蓮沼　７４７－１	鉄骨ルーフデッキ葺2階建	40.00	昭和61年４月
	第２班	早稲田　４－２４－３	鉄骨ルーフデッキ葺平家建	43.00	昭和62年３月
	第３班	茂田井　７０７－１	木造２階建	62.24	平成31年３月
	第４班	岩野木　１１９	木造２階建	66.24	平成30年４月
第三分団	第１班	新　和　１－４４０	鉄骨造平家建	43.74	平成５年３月
	第２班	高　州　１－１	鉄骨造２階建	55.00	平成15年11月
	第３班	高　州　２－３９５－１	木造２階建	66.24	平成26年４月
	第４班	高　州　３－３２	木造２階建	66.24	令和４年２月
第四分団	第１班	鷹　野　５－４２９	木造２階建	62.00	平成29年３月
	第２班	戸ヶ崎　４－２８０－１	鉄骨造２階建	71.50	平成21年３月
	第３班	戸ヶ崎　３－２６６－３	木造２階建	65.60	令和７年２月
	第４班	栄　１－２４６－３	鉄骨造２階建	41.16	平成15年３月
第五分団	第１班	花和田　１２２－１	木造２階建	66.24	平成28年３月
	第２班	彦　江　１－１５２	木造２階建	62.10	平成23年４月
	第３班	番匠免　１－３４－３	木造２階建	70.00	平成25年３月
	第４班	彦　倉　１－６０	木造２階建	66.00	平成24年４月
第六分団	第１班	彦川戸　１－１３５	鉄骨造２階建	66.00	平成20年８月
	第２班	彦　成　１－３９５－１	木造２階建	62.24	令和２年３月
	第３班	彦　糸　１－５２	木造２階建	62.24	令和５年３月
	第４班	采　女　１－１０９－２	木造２階建	63.76	平成22年５月

三郷市消防団機械器具置場配置図

一分団１班	一分団２班	一分団３班	一分団４班



六分団１班	
六分団２班	
六分団３班	
六分団４班	
五分団１班	
五分団２班	
五分団３班	
五分団４班	

二分団１班	
二分団２班	
二分団３班	
二分団４班	
三分団１班	
三分団２班	
三分団３班	
三分団４班	

四分団１班	四分団２班	四分団３班	四分団４班

少年消防クラブ

1　少年消防クラブの概要

（1）目的

クラブ活動を通じて消防・防災について学習し、正しい知識と技能を修得し、生命と暮らしを守ることの大切さを学ぶとともに、規律や防火マナー等を身につける消防防災教育を行い、クラブ員を通じて家庭及び地域の防火・防災意識の高揚を図り、将来の地域防災の担い手となる人材育成を目的とする。

（2）少年消防クラブの沿革

平成２３年	４月	平成２３年４月１日に三郷市少年消防クラブが発足する。
	〃	１期生３２名が入団する。
	〃	三郷市少年消防クラブ初代会長に安晝和己氏就任。
	〃	財団法人 日本消防協会 少年消防クラブ活性化推進会議によるモデル少年消防クラブに選ばれる。
	〃	少年消防クラブ活性化推進会議より、クラブ帽子・ヘルメット・活動服の助成を受ける。
	１１月	規約を改正し、団員の資格を中学３年生までとする。
平成２４年	３月	コミュニティ助成事業により、団員用防火衣一式・広報用資器材一式を整備する。
	４月	２期生１９名が入団し、４５名となる。
	８月	総務省消防庁主催の岩手県で開催された、少年消防クラブ交流会合同訓練において１位となる。
平成２５年	４月	３期生２２名が入団し、５９名となる。
	１０月	コミュニティ助成事業により、軽可搬ポンプ一式・テント３張りを整備する。
	１１月	消防団１２０年・自治体消防６５周年記念大会（東京ドーム）にクラブ員５名が放水演技を披露し４８名が参加する。
平成２６年	４月	三郷市少年消防クラブ２代目会長に南部正彦氏が就任。 ４期生１８名が入団し、７０名となる。
	８月	消防団を中核とした地域防災力充実強化大会（東京国際フォーラム）において、活動発表及びポンプ操法を披露する。
平成２７年	２月	規約を改正し、団員の資格を高校３年生とし、高校生団員を準指導者とする。
	３月	平成２６年度優良少年消防クラブ表彰（消防庁長官賞）を受賞する。
	４月	５期生２５名が入団し、８６名となる。
	７月	第２０回ヨーロッパ青少年消防オリンピック（ポーランド共和国オポーレ市）にクラブ員５名を派遣。
	８月	総務省消防庁主催の徳島県で開催された、少年消防クラブ交流会（全国大会）に参加し、合同訓練において１位となる。

	９月	コミュニティ助成事業により、放送設備一式・防火水槽を整備する。
平成２８年	４月	６期生２５名が入団し、９８名となる。
	８月	総務省消防庁主催の宮城県で開催された、少年消防クラブ交流会（全国大会）に参加し、合同訓練において２位となる。
	９月	コミュニティ助成事業により、心肺蘇生訓練用人形９体とＡＥＤトレーナー９器を整備する。
平成２９年	４月	三郷市少年消防クラブ３代目会長に野本浩氏が就任。 ７期生２３名が入団し、１１４名となる。
	８月	総務省消防庁主催の徳島県で開催された、少年消防クラブ交流会（全国大会）に参加し、合同訓練において１位となる。
平成３０年	３月	平成２９年度特に優良な少年消防クラブ表彰（総務大臣表彰）を受賞する。
	４月	８期生２２名が入団し、１１６名となる。
	８月	総務省消防庁主催の千葉県で開催された、少年消防クラブ交流会（全国大会）に参加し、合同訓練において２位となる。
	１０月	内閣府等が主催する、東京都のそなエリアで開催された「ぼうさいこくたい２０１８セッション」において、活動発表を行う。
平成３１年	４月	９期生２７名が入団し、１１８名となる。
令和元年	８月	総務省消防庁主催の徳島県で開催された、少年消防クラブ交流会（全国大会）に参加し、合同訓練において５位となる。
令和２年	４月	三郷市少年消防クラブ４代目会長に浅香一雄氏が就任。 １０期生２６名が入団し、１２４名となる。
令和３年	４月	１１期生１０名が入団し、１０９名となる。
令和４年	４月	１２期生２８名が入団し、１０９名となる
令和５年	４月	三郷市少年消防クラブ５代目会長に山本浩文氏が就任。 １３期生２５名が入団し、１０４名となる。
	９月	総務省消防庁主催の鳥取県で開催された、少年消防クラブ交流会（全国大会）に参加し、合同訓練において１位となる。
令和６年	４月	１４期生１９名が入団し、１１１名となる。
	７月	第２４回ヨーロッパ青少年消防オリンピック（イタリア共和国トランティーノ）にクラブ員５名を派遣。
	９月	総務省消防庁主催の兵庫県で開催された、少年消防クラブ交流会(全国大会)に参加し、合同訓練において１位となる。
令和７年	３月	令和６年度、２度目の特に優良な少年消防クラブ表彰（総務大臣表彰）を受賞する。
	４月	１５期生３０名が入団し、１２０名となる。

2　少年消防クラブの団員状況

（1）年度別入団員数

各年度 4 月 1 日現在

	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
小学５年生	9 (3)	23 (9)	21 (6)	11 (3)	21 (3)
小学６年生	1	5 (3)	4 (2)	8 (2)	9 (1)
合　計	10 (3)	28 (12)	25 (8)	19 (5)	30 (4)

※（　）は女子

（2）年度別在籍数

各年度 4 月 1 日現在

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
小学５年生	9 (3)	23 (9)	21 (6)	11 (3)	21 (3)
小学６年生	24 (6)	14 (6)	25 (11)	29 (8)	20 (4)
中学１年生	17 (8)	21 (6)	12 (5)	23 (10)	26 (6)
中学２年生	17 (9)	13 (6)	19 (6)	10 (5)	19 (8)
中学３年生	16 (5)	15 (7)	11 (6)	17 (5)	9 (4)
高校１年生	7 (3)	7 (3)	7 (4)	10 (6)	9 (3)
高校２年生	11 (5)	6 (2)	5 (3)	7 (4)	9 (5)
高校３年生	8 (1)	10 (4)	4 (1)	4 (3)	7 (4)
合　計	109 (40)	109 (43)	104 (42)	111 (44)	120 (37)

※（　）は女子

（3）少年消防クラブ員在籍状況

令和 7 年 4 月 1 日現在

学年 / 期生	小学生		中学生			高校生			合　計
	5 年生	6 年生	1 年生	2 年生	3 年生	1 年生	2 年生	3 年生	
8 期生								7 (4)	7 (4)
9 期生							8 (5)		8 (5)
10 期生						9 (3)	1		10 (3)
11 期生					7 (3)				7 (3)
12 期生				15 (6)	2 (1)				17 (7)
13 期生			19 (4)	4 (2)					23 (6)
14 期生		11 (3)	7 (2)						18 (5)
15 期生	21 (3)	9 (1)							30 (4)
合　計	21 (3)	20 (4)	26 (6)	19 (8)	9 (4)	9 (3)	9 (5)	7 (4)	120 (37)

※（ ）は女子

（4）小学校別クラブ員在籍状況

令和 7 年 4 月 1 日現在

小学校名	5 年生	6 年生	合　計
新和小学校	11 (1)	5 (1)	16 (2)
幸房小学校	3	0	3
丹後小学校	1	1 (1)	2 (1)
八木郷小学校	0	3	3
前間小学校	1 (1)	7 (2)	8 (3)
高州小学校	0	1	1
立花小学校	1	0	1
彦糸小学校	1	0	1
彦成小学校	2 (1)	1	3 (1)
前谷小学校	0	1	1
瑞木小学校	0	1	1
市外の小学校	1	0	1
合　計	21 (3)	20 (4)	41 (7)

※（　）は女子

（5）中学校別クラブ員在籍状況

令和 7 年 4 月 1 日現在

中学校名	1 年生	2 年生	3 年生	合　計
北中学校	4	3 (2)	1 (1)	8 (3)
栄中学校	9 (4)	11 (5)	3 (1)	23 (10)
彦糸中学校	1	0	1 (1)	2 (1)
彦成中学校	1	0	0	1
前川中学校	0	0	1	1
瑞穂中学校	1	2 (1)	0	3 (1)
南中学校	1	0	1 (1)	2 (1)
早稲田中学校	6 (1)	1	2	9 (1)
市外の中学校	3 (1)	2	0	5 (1)
合　計	26 (6)	19 (8)	9 (4)	54 (18)

※（　）は女子

（6）高校生クラブ員在籍状況

令和 7 年 4 月 1 日現在

	1 年生	2 年生	3 年生	合　計
合　計	9 (3)	9 (5)	7 (4)	25 (12)

※（　）は女子

３　令和６年度　少年消防クラブの年間活動概要

開催月	行事	内容
４月	三郷市少年消防クラブ入団式	クラブ員手帳の交付・卒団員表彰
５月	消防基本訓練	規律訓練等
７月	２デイズ（消防体験学習）	規律訓練・放水体験・救助体験・災害図上訓練・救命講習
８月	三郷市少年消防クラブ宿泊研修	オリエンテーリング・視察研修
９月	全国少年消防クラブ交流大会	兵庫県 消防資機材を使用したリレー・障害物競走 全国のクラブ員と交流及び避難所体験等
９月	救急フェスタ【不参加】	親子で救命入門コースを受講
９月	三郷市総合防災訓練	参加者と協力し、共助を学ぶ
１１月	消防フェア	防火広報及び活動報告
１２月	三郷市消防出初式事前訓練	出初式参加に向けての訓練
１月	三郷市消防出初式	市民に訓練成果を披露

三郷市少年消防クラブ活動風景

青少年消防オリンピック出場

消防体験学習（3ﾃﾞｲｽﾞ）

令和６年度全国交流大会優勝！

青少年消防オリンピックに伴う県知事訪問

宿泊研修

出初式

市の安全と安心をめざして

編　　集	三郷市消防本部消防総務課
住　　所	〒341-0038 埼玉県三郷市中央 5-45-4
電　　話	(048)952-1211(代表)
F　A　X	(048)952-5568
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ	https://www.city.misato.lg.jp/soshiki/syobo/index.html
電子ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ	shobo@city.misato.lg.jp

©みさと 2009